

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2005-157258  
(P2005-157258A)

(43) 公開日 平成17年6月16日(2005.6.16)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	F I	テーマコード (参考)
<b>G09G 3/30</b>	G09G 3/30 H	3K007
<b>G09G 3/20</b>	G09G 3/30 K	5C080
<b>G09G 3/22</b>	G09G 3/20 624B	
<b>H05B 33/14</b>	G09G 3/20 641A	
	G09G 3/20 641E	
審査請求 有 請求項の数 39 O L (全 32 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号 特願2004-131246 (P2004-131246)	(71) 出願人 590002817
(22) 出願日 平成16年4月27日 (2004. 4. 27)	三星エスディアイ株式会社
(31) 優先権主張番号 2003-084235	大韓民国京畿道水原市靈通区▲しん▼洞5
(32) 優先日 平成15年11月25日 (2003. 11. 25)	75番地
(33) 優先権主張国 韓国 (KR)	(74) 代理人 100083806
	弁理士 三好 秀和
	(72) 発明者 申 東 蒼
	大韓民国ソウル市冠岳區奉天1洞969-
	37番地
	Fターム(参考) 3K007 AB02 AB18 BA06 DB03 GA00
	5C080 AA06 AA18 BB05 CC03 DD07
	EE29 FF07 FF11 HH09 JJ02
	JJ03 JJ04

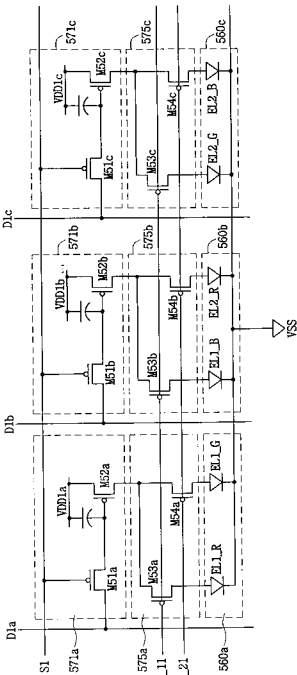
(54) 【発明の名称】 平板表示装置及びその駆動方法

(57) 【要約】

【課題】有機電界発光表示装置のピクセル回路及びその駆動方法を提供する。

【解決手段】本発明は、二つ以上の発光素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち、隣接する二つの画素の二つ以上の発光素子のうち、一部発光素子は第1発光素子グループEL1\_R、EL1\_B、EL2\_Gとしてグルーピングされ、残りの発光素子は第2発光素子グループEL1\_G、EL2\_R、EL2\_Bとしてグルーピングされ、前記第1発光素子グループEL1\_R、EL1\_B、EL2\_Gと第2発光素子グループEL1\_G、EL2\_R、EL2\_Bは、前記一定期間内で順に駆動されて前記一定区間で所定の色を具現する。前記一定区間は1フレームであり、前記1フレームは二つのサブフレームで分割され、第1発光素子グループEL1\_R、EL1\_B、EL2\_Gと第2発光素子グループEL1\_G、EL2\_R、EL2\_Bは各サブフレームごとに時分割的に駆動される。

【選択図】 図9



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

一定区間ごとに所定の色を具現する表示装置において、  
それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上の発光素子を備える多数の画素を含み、

多数の画素のうち、隣接する二つの画素の発光素子のうち、二つの発光素子の一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動され、前記一定区間で所定の色を具現することを特徴とする表示装置。

**【請求項 2】**

請求項 1 記載の表示装置において、

10

前記一定区間は 1 フレームであり、一定期間はサブフレームとして、前記 1 フレームは二つのサブフレームに分割され、二つの発光素子は 1 フレーム内で各サブフレームごとに時分割的に駆動されることを特徴とする表示装置。

**【請求項 3】**

請求項 2 記載の表示装置において、

前記サブフレーム内で互いに異なる色を放出する発光素子が同時に発光され、前記サブフレーム内では少なくとも二つ以上の互いに異なる色が放出されることを特徴とする表示装置。

**【請求項 4】**

請求項 1 記載の表示装置において、

20

前記二つの発光素子の発光時間を調節して前記所定色のホワイトバランスを調節することを特徴とする表示装置。

**【請求項 5】**

請求項 1 記載の表示装置において、

前記発光素子は F E Dであることを特徴とする表示装置。

**【請求項 6】**

請求項 1 記載の表示装置において、

前記発光素子は R、G、B 及び W - E L 素子から選択されることを特徴とする表示装置

。

**【請求項 7】**

30

請求項 6 記載の表示装置において、

前記二つの E L 素子は、第 1 電極が前記能動素子にそれぞれ連結され、第 2 電極が接地電圧に共通連結されることを特徴とする表示装置。

**【請求項 8】**

請求項 7 記載の表示装置において、

前記 E L 素子は、ストライプタイプまたは、デルタタイプに配列されることを特徴とする表示装置。

**【請求項 9】**

請求項 1 記載の表示装置において、

前記能動素子は前記発光素子を駆動するための少なくとも一つ以上のスイッチング素子で構成されることを特徴とする表示装置。

40

**【請求項 10】**

請求項 9 記載の表示装置において、

前記能動素子を構成するスイッチング素子は、薄膜トランジスター、薄膜ダイオード、ダイオード、ならびに T R S で構成されることを特徴とする有機電界発光表示装置。

**【請求項 11】**

それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上の E L 素子を備える多数の画素を含み、

多数の画素のうち、隣接する二つの画素の E L 素子のうち、二つの E L 素子の一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに順に駆動され、

50

前記一定期間内に互いに異なる色を放出するＥＬ素子が同時に駆動され少なくとも二つ以上の色が具現することを特徴とする表示装置。

【請求項１２】

請求項１１記載の表示装置において、

前記能動素子は、前記二つのＥＬ素子に共通で連結され、前記ＥＬ素子を駆動するための駆動手段と、

発光制御信号によって前記二つのＥＬ素子が時分割的に駆動されるように制御する順次制御手段と、

を有することを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項１３】

請求項１２記載の有機電界発光表示装置において、

前記駆動手段は、少なくともデータ信号をスイッチングするための一つまたは、それ以上のスイッチングトランジスターと、

前記データ信号に相応する駆動電流を前記ＥＬ素子に提供するための一つまたは、それ以上の駆動トランジスターと、

前記データ信号を貯蔵するためのキャパシターと、

を有することを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項１４】

請求項１３記載の有機電界発光表示装置において、

前記駆動手段は、前記駆動トランジスターのスレッシュホールド電圧を補償するためのスレッシュホールド電圧補償手段をさらに有することを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項１５】

請求項１２記載の有機電界発光表示装置において、

前記順次制御手段は、ゲートに第１発光制御信号が提供され、ソースが前記駆動手段に連結され、ドレーンが二つのＥＬ素子のうち、一つのアノード電極に連結される第１薄膜トランジスターと、

ゲートに第２発光制御信号が提供され、ソースが前記駆動手段に連結され、ドレーンが二つのＥＬ素子のうち、他の一つのアノード電極に連結される第２薄膜トランジスターと

、  
で構成されることを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項１６】

請求項１２記載の有機電界発光表示装置において、

前記順次制御手段は、ゲートに発光制御信号が提供され、ソースが前記駆動手段に連結され、ドレーンが二つのＥＬ素子のうち、一つのアノード電極に連結される第１薄膜トランジスターと、

ゲートに前記発光制御信号が提供され、ドレーンが前記駆動手段に連結され、ソースが二つのＥＬ素子のうち、他の一つのアノード電極に連結される第２トランジスターと、

で構成されることを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項１７】

請求項１１記載の表示装置において、

ＥＬ素子はストライプタイプまたは、デルタタイプに配列されることを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項１８】

それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のＥＬ素子を備える多数の画素を含み、

多数の画素のうち、隣接する二つの画素のＥＬ素子うち、二つのＥＬ素子は一つの能動素子によって一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動され、

前記能動素子はゲートがゲートラインに連結され、ソース／ドレーンがデータラインに連結される第１薄膜トランジスターと、

前記第１薄膜トランジスターのドレーン／ソースにゲートが連結され、ソース／ドレー

10

20

30

40

50

ンに電源ラインが連結される第2薄膜トランジスターと、

前記第2薄膜トランジスターのゲートとソース/ドレーンに連結されるキャパシターと

、  
前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに第1発光制御信号が印加され、二つのEL素子のうち、一つのEL素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第3薄膜トランジスターと、

前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに第2発光制御信号が印加され、二つのEL素子のうち、他の一つのEL素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第4薄膜トランジスターと、

を有することを特徴とする有機電界発光表示装置。

10

【請求項19】

それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のEL素子を備える多数の画素を含み、

多数の画素のうち、隣接する二つの画素のEL素子のうち、二つのEL素子の一つの能動素子によって一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動され、

前記能動素子はゲートがゲートラインに連結され、ソース/ドレーンがデータラインに連結される第1薄膜トランジスターと、

前記第1薄膜トランジスターのドレーン/ソースにゲートが連結され、ソース/ドレーンに電源ラインが連結される第2薄膜トランジスターと、

前記第2薄膜トランジスターのゲートとソース/ドレーンに連結されるキャパシターと

20

、  
前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに発光制御信号が印加され、二つのEL素子のうち、一つのEL素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第3薄膜トランジスターと、

前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにドレーン/ソースが連結され、ゲートに前記発光制御信号が印加され、二つのEL素子のうち、他の一つのEL素子のアノード電極にソース/ドレーンが連結される第4薄膜トランジスターと、

を有することを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項20】

一定区間ごとに所定の色を具現する表示装置において、

30

それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上の発光素子を備える多数の画素を含み、

多数の画素のうち、隣接する二つの画素の二つ以上の発光素子のうち、一部発光素子は第1発光素子グループにグルーピングされ、残りの発光素子は第2発光素子グループにグルーピングされ、

前記第1発光素子グループ及び第2発光素子グループは、前記一定区間内で時分割的に駆動され、前記一定区間内で所定の色を具現することを特徴とする表示装置。

【請求項21】

請求項20記載の表示装置において、

前記一定区間は1フレームであり、前記1フレームは二つのサブフレームに分割され、第1発光素子グループと第2発光素子グループは各サブフレームごとに時分割的に駆動されることを特徴とする表示装置。

40

【請求項22】

請求項20記載の表示装置において、

前記第1発光素子グループと第2発光素子グループの発光素子が発光される時間を調節して、前記具現される所定色のホワイトバランスを調節することを特徴とする表示装置。

【請求項23】

請求項20記載の表示装置において、

前記第1発光素子グループと第2発光素子グループの発光素子は、隣接する二つの画素の発光素子のうち、各画素の少なくとも二つの発光素子のうち少なくとも一つ以上が

50

発光素子にグルーピングされることを特徴とする表示装置。

【請求項 2 4】

一定区間ごとに所定の色を具現する表示装置において、  
それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上の発光素子を備える多数の画素を含み、

多数の画素のうち隣接する二つの画素の、少なくとも二つ以上の発光素子のうち、一部発光素子は第 1 発光素子グループにグルーピングされ、残りの発光素子は第 2 発光素子グループにグルーピングされ、

前記一定区間内の一定期間の間、前記第 1 発光素子グループと第 2 発光素子グループのうち、一つの発光素子グループの発光素子だけが駆動されて前記一定区間内で所定の色を具現することを特徴とする表示装置。 10

【請求項 2 5】

請求項 2 4 記載の表示装置において、

前記一定区間は 1 フレームであり、前記一定期間はサブフレームとして、前記 1 フレームは二つのサブフレームに分割され、第 1 発光素子グループと第 2 発光素子グループはそれぞれのサブフレームで駆動されることを特徴とする表示装置。

【請求項 2 6】

請求項 2 5 記載の表示装置において、

各サブフレームで前記第 1 発光素子グループと第 2 発光素子グループの発光素子が発光される時間を調節して、前記具現される所定色のホワイトバランスを調節することを特徴とする表示装置。 20

【請求項 2 7】

請求項 2 3 記載の表示装置において、

前記第 1 発光素子グループまたは、第 2 発光素子グループの発光素子は、前記一定区間の間に順に発光されるかまたは、一括発光されることを特徴とする表示装置。

【請求項 2 8】

請求項 2 3 記載の表示装置において、

前記第 1 発光素子グループと第 2 発光素子グループの発光素子は、隣接する二つの画素の発光素子のうち、各画素の少なくとも二つの発光素子のうち少なくとも一つ以上が発光素子にグルーピングされることを特徴とする表示装置。 30

【請求項 2 9】

多数のゲートライン、多数のデータライン、多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、

前記多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結され、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上の E L 素子とを備える多数の画素を含み、

多数の画素のうち、隣接する二つの画素の E L 素子のうち、二つの E L 素子は一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動され、

前記能動素子は該当するゲートラインから印加されるスキャン信号により前記該当するデータラインから提供されるデータ信号をスイッチングするための一つ以上のスイッチングトランジスターと、 40

前記スイッチングトランジスターを通じて提供されるデータ信号により前記 E L 素子を駆動するための一つ以上の駆動トランジスターと、

前記多数の発光制御ラインのうち、該当する少なくとも一つの発光制御ラインから提供される少なくとも一つの発光制御信号により前記 E L 素子が一定期間ごとに順に駆動されるように制御する一つ以上の薄膜トランジスターと、

を備えることを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項 3 0】

多数のゲートライン、多数のデータライン、多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、

前記多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結され、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のEL素子とを備える多数の画素を含み、

多数の画素のうち、隣接する二つの画素のEL素子のうち、二つのEL素子は一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動され、

前記能動素子は、ゲートがゲートラインに連結され、ソース/ドレーンがデータラインに連結される第1薄膜トランジスターと、

前記第1薄膜トランジスターのドレーン/ソースにゲートが連結され、ソース/ドレーンに電源ラインが連結される第2薄膜トランジスターと、

前記第2薄膜トランジスターのゲートとソース/ドレーンに連結されるキャパシターと 10

、  
前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに第1発光制御信号が印加され、二つのEL素子のうち一つのEL素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第3薄膜トランジスターと、

前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに第2発光制御信号が印加され、二つのEL素子のうち、他の一つのEL素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第4薄膜トランジスターと、

を有することを特徴とする有機電界発光表示装置。

#### 【請求項31】

多数のゲートライン、多数のデータライン、多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、 20

前記多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結され、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のEL素子を備える多数の画素を含み、

多数の画素のうち、隣接する二つの画素のEL素子のうち、二つのEL素子は一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動され、

前記能動素子はゲートがゲートラインに連結され、ソース/ドレーンがデータラインに連結される第1薄膜トランジスターと、

前記第1薄膜トランジスターのドレーン/ソースにゲートが連結され、ソース/ドレーンに電源ラインが連結される第2薄膜トランジスターと、 30

前記第2薄膜トランジスターのゲートとソース/ドレーンに連結されるキャパシターと、

前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに発光制御信号が印加され、二つのEL素子のうち、一つのEL素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第3薄膜トランジスターと、

前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにドレーン/ソースが連結され、ゲートに前記発光制御信号が印加され、二つのEL素子のうち、他の一つのEL素子のアノード電極にソース/ドレーンが連結される第4薄膜トランジスターと、

を有することを特徴とする有機電界発光表示装置。

#### 【請求項32】

多数のゲートライン、多数のデータライン、多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、 40

前記多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結される多数の画素を含む画素部と、

前記多数のゲートラインに多数のスキャン信号を提供するためのゲートライン駆動回路と、

前記多数のデータラインにR、G、Bデータ信号を提供するためのデータライン駆動回路と、

前記多数の発光制御ラインに発光制御信号を提供するための発光制御信号発生回路とを 50

備え、

前記画素部の各画素は R、G、B - EL 素子を備え、多数の画素のうち、隣接する二つの画素の R、G、B - EL 素子のうち、一部 EL 素子は第 1 発光素子グループにグルーピングされ、残りの発光素子は第 2 発光素子グループにグルーピングされて、

一定区間内の一定期間の間、前記発光制御信号により前記第 1 発光素子グループと第 2 発光素子グループのうち、一つの発光素子グループの発光素子だけが前記データ信号に対応して駆動されることを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項 33】

請求項 32 記載の有機電界発光表示装置において、

前記第 1 発光素子グループまたは、第 2 発光素子グループの発光素子は前記一定区間の間にゲートラインごとに順に発光するか、または一括発光することを特徴とする有機電界発光表示装置。

【請求項 34】

多数のゲートライン、多数のデータライン、多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、

前記多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結された多数の画素とを含み、各画素は少なくとも R、G、B 発光素子を備える表示装置を駆動する方法において、

多数の画素のうち、隣接する二つの画素の R、G、B 発光素子のうち、一部の発光素子を第 1 発光素子グループにグルーピングし、残りの発光素子を第 2 発光素子グループにグルーピングして、

一定区間内で前記第 1 発光素子グループと第 2 発光素子グループとを順次駆動すること

を特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 35】

請求項 34 記載の表示装置の駆動方法において、

前記一定区間は 1 フレームとして二つのサブフレームに分割され、各サブフレームごとに前記第 1 発光素子グループ及び第 2 発光素子グループの発光素子が時分割的に発光されて、1 フレームの間に所定の色を具現することを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 36】

請求項 35 記載の表示装置の駆動方法において、

前記サブフレームごとに発光される前記第 1 発光素子グループまたは、第 2 発光素子グループは互いに異なる色を放出する二つ以上の発光素子を含め、各サブフレームごと、互いに異なる色を同時に放出することを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 37】

請求項 34 記載の表示装置の駆動方法において、

前記第 1 発光素子グループまたは、第 2 発光素子グループの発光素子は前記サブフレームの間、ゲートラインごとに順に発光されるか、または一括発光されることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 38】

多数のゲートライン、多数のデータライン、多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、

多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結される多数の画素とを含み、各画素は少なくとも R、G、B 発光素子を備える表示装置を駆動する方法において、

多数の画素のうち、隣接する二つの画素の R、G、B 発光素子のうち、一部の発光素子を第 1 発光素子グループにグルーピングし、残りの発光素子を第 2 発光素子グループにグルーピングして、

一定区間、一定期間内の第 1 期間の間、ゲートラインから提供されるスキャン信号によりゲートラインごとに前記第 1 発光素子グループまたは、第 2 発光素子グループの発光素子を駆動するためのデータを、データラインを通じて書き込みし、

10

20

30

40

50

前記一定区間、一定期間内の第２期間の間、書き込まれたデータにより第１発光素子グループまたは、第２発光素子グループの発光素子を一括発光させることを含み、

前記第１発光素子グループまたは、第２発光素子グループは一定区間の一定期間ごとに順に駆動されることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項３９】

請求項３８記載の表示装置の駆動方法において、

前記一定区間は１フレームであり、一定期間はサブフレームとして、１フレームは二つのサブフレームに分割され、各サブフレームはデータを書き込む第１期間と発光素子を一括発光させる発光期間に分割されることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【発明の詳細な説明】

10

【技術分野】

【０００１】

本発明は、自己発光型表示装置に関する。更に詳しく説明すると、隣接する二つの画素のＲ、Ｇ、Ｂ発光素子のうち、二つの発光素子を時分割的に駆動する有機電界発光表示装置及びその駆動方法(Pixel circuit in flat panel display device and Driving method thereof)に関する。

【背景技術】

【０００２】

最近は、軽量、薄型などの特性から携帯用情報機器に液晶表示装置(LCD)と有機電

20

【０００３】

通常、アクティブマトリクス有機電界発光表示装置は、一つの画素がＲ、Ｇ、Ｂ単位画素で構成され、各Ｒ、Ｇ、Ｂ単位画素はＥＬ素子を有する。各ＥＬ素子は、アノード電極とカソード電極との間に各Ｒ、Ｇ、Ｂ有機発光層が介在されて、アノード電極とカソード電極に印加される電圧によりＲ、Ｇ、Ｂ有機発光層から光を発光する。

【０００４】

図１６は、従来のアクティブマトリクス有機電界発光表示装置の構成を示す図である。図１６を参照すると、従来のアクティブマトリクス有機電界発光表示装置１０は、画素部１００、ゲートライン駆動回路１１０、データライン駆動回路１２０及び制御部(図示せず)を備える。前記画素部１００は、前記ゲートライン駆動回路１１０からスキャン信号Ｓ１-Ｓ<sub>ｍ</sub>が提供される多数のゲートライン１１１-１１<sub>ｍ</sub>と、前記データライン駆動回路１２０からデータ信号ＤＲ１、ＤＧ１、ＤＢ１-ＤＲ<sub>ｎ</sub>、ＤＧ<sub>ｎ</sub>、ＤＢ<sub>ｎ</sub>を提供するための多数のデータライン１２１-１２<sub>ｎ</sub>及び電源電圧ＶＤＤ１-ＶＤＤ<sub>ｎ</sub>を提供する多数の電源ライン１３１-１３<sub>ｎ</sub>を備える。

30

【０００５】

前記画素部１００は、多数のゲートライン１１１-１１<sub>ｍ</sub>、多数のデータライン１２１-１２<sub>ｎ</sub>及び多数の電源ライン１３１-１３<sub>ｎ</sub>に連結される多数の画素Ｐ１１-Ｐ<sub>ｍｎ</sub>がマトリクス形態で配列される。各画素Ｐ１１-Ｐ<sub>ｍｎ</sub>は、三つの単位画素、つまりＲ、Ｇ、Ｂ単位画素ＰＲ１１、ＰＧ１１、ＰＢ１１-Ｐ<sub>Ｒｍｎ</sub>、Ｐ<sub>Ｇｍｎ</sub>、Ｐ<sub>Ｂｍｎ</sub>で構成されて、多数のゲートライン、データライン及び電源供給ラインのうち、該当する一つのゲートライン、データライン及び電源供給ラインにそれぞれ連結される。

40

【０００６】

例えば、画素Ｐ１１は、Ｒ単位画素ＰＲ１１、Ｇ単位画素ＰＧ１１、Ｂ単位画素ＰＢ１１を備え、多数のゲートライン１１１-１１<sub>ｍ</sub>のうち、第１スキャン信号Ｓ１を提供する第１ゲートライン１１１、多数のデータライン１２１-１２<sub>ｎ</sub>のうち、第１データライン１２１、そして多数の電源ライン１３１-１３<sub>ｎ</sub>のうち、第１電源ライン１３１に連結される。

50



## 【 0 0 0 7 】

すなわち、前記画素 P 1 1 のうち、R 単位画素 P R 1 1 は、第 1 ゲートライン 1 1 1 と第 1 データライン 1 2 1 のうち、R データ信号 D R 1 が提供される R データライン 1 2 1 R、そして第 1 電源ライン 1 3 1 のうち、R 電源ライン 1 3 1 R に連結され、G 単位画素 P G 1 1 は第 1 ゲートライン 1 1 1 と、第 1 データライン 1 2 1 のうち、G データ信号 D G 1 が提供される G データライン 1 2 1 G、そして第 1 電源ライン 1 3 1 のうち、G 電源ライン 1 3 1 G に連結され、B 単位画素 P B 1 1 は第 1 ゲートライン 1 1 1 と、第 1 データライン 1 2 1 のうち、B データ信号 D B 1 が提供される B データライン 1 2 1 B、そして第 1 電源ライン 1 3 1 のうち、B 電源ライン 1 3 1 B に連結される。

## 【 0 0 0 8 】

10

図 1 7 は、従来の有機電界発光表示装置のピクセル回路を示したものであり、図 1 6 で R、G、B 単位画素で構成される一つの画素 P 1 1 の回路構成図を示したものである。

## 【 0 0 0 9 】

図 1 7 を参照すると、画素 P 1 1 を構成する R、G、B 単位画素 P R 1 1、P G 1 1、P B 1 1 のうち、R 単位画素 P R 1 1 は第 1 ゲートライン 1 1 1 から印加されるスキャン信号 S 1 がゲートに提供され、ソースに R データライン 1 2 1 R からデータ信号 D R 1 が提供されるスイッチングトランジスタ M 1 \_\_ R と、前記スイッチングトランジスタ M 1 \_\_ R のドレインにゲートが連結され、ソースに電源ライン 1 3 1 R から電源電圧 V D D 1 が提供される駆動トランジスタ M 2 \_\_ R と、前記駆動トランジスタ M 2 \_\_ R のゲートとソースに連結されるキャパシタ C 1 \_\_ R と、前記駆動トランジスタ M 2 \_\_ R のドレインにアノードが連結され、カソードが接地電圧 V S S に連結される R - E L 素子 E L 1 \_\_ R で構成される。

20

## 【 0 0 1 0 】

これと同様に、G 単位画素 P G 1 1 は、第 1 ゲートライン 1 1 1 から印加されるスキャン信号 S 1 がゲートに提供され、ソースに G データライン 1 2 1 G からデータ信号 D G 1 が提供されるスイッチングトランジスタ M 1 \_\_ G と、前記スイッチングトランジスタ M 1 \_\_ G のドレインにゲートが連結され、ソースに電源ライン 1 3 1 G から電源電圧 V D D 1 が提供される駆動トランジスタ M 2 \_\_ G と、前記駆動トランジスタ M 2 \_\_ G のゲートとソースに連結されるキャパシタ C 1 \_\_ G と、前記駆動トランジスタ M 2 \_\_ G のドレインにアノードが連結され、カソードが接地電圧 V S S に連結される G - E L 素子 E L 1 \_\_ G で構成される。

30

## 【 0 0 1 1 】

また、B 単位画素 P B 1 1 は、第 1 ゲートライン 1 1 1 から印加されるスキャン信号 S 1 がゲートに提供され、ソースに B データライン 1 2 1 B からデータ信号 D B 1 が提供されるスイッチングトランジスタ M 1 \_\_ B と、前記スイッチングトランジスタ M 1 \_\_ B のドレインにゲートが連結され、ソースに電源ライン 1 3 1 B から電源電圧 V D D 1 が提供される駆動トランジスタ M 2 \_\_ B と、前記駆動トランジスタ M 2 \_\_ B のゲートとソースに連結されるキャパシタ C 1 \_\_ B と、前記駆動トランジスタ M 2 \_\_ B のドレインにアノードが連結され、カソードが接地電圧 V S S に連結される B - E L 素子 E L 1 \_\_ B で構成される。

40

## 【 0 0 1 2 】

前述のピクセル回路の動作を見ると、ゲートライン 1 1 1 にスキャン信号 S 1 が印加されると、画素 P 1 1 を構成する R、G、B 単位画素のスイッチングトランジスタ M 1 \_\_ R、M 1 \_\_ G、M 1 \_\_ B が駆動され、R、G、B データライン 1 2 1 R、1 2 1 G、1 2 1 B から R、G、B データ D R 1、D G 1、D B 1 が駆動トランジスタ M 2 \_\_ R、M 2 \_\_ G、M 2 \_\_ B のゲートにそれぞれ印加される。

## 【 0 0 1 3 】

前記駆動トランジスタ M 2 \_\_ R、M 2 \_\_ G、M 2 \_\_ B は、ゲートに印加されるデータ信号 D R 1、D G 1、D B 1 と R、G、B 電源ライン 1 3 1 R、1 3 1 G、1 3 1 B からそれぞれ提供される電源電圧 V D D 1 との差に相応する駆動電流を E L 素子 E L 1 \_\_ R、

50

EL1\_\_G、EL1\_\_Bに提供する。各EL素子EL1\_\_R、EL1\_\_G、EL1\_\_Bは、駆動トランジスタM2\_\_R、M2\_\_G、M2\_\_Bを通じて印加される駆動電流により駆動されて画素P11が駆動される。キャパシタC1\_\_R、C1\_\_G、C1\_\_Bは、各R、G、Bデータライン121R、121G、121Bに印加されるデータ信号DR1、DG1、DB1を貯蔵するための手段である。

#### 【0014】

前述したような構成を有する従来の有機電界発光表示装置の動作を図18の駆動波形図を参照して説明すると次のようになる。

#### 【0015】

まず、第1ゲートライン111にスキャン信号S1が印加されると、前記第1ゲートライン111が駆動し、前記第1ゲートライン111に連結された画素P11 - P1nが駆動する。 10

#### 【0016】

つまり、第1ゲートライン111に印加されるスキャン信号S1により第1ゲートライン111に連結された画素P11 - P1nのR、G、B単位画素PR11 - PR1n、PG11 - PG1n、PB11 - PB1nのスイッチングトランジスタが駆動する。スイッチングトランジスタの駆動により、第1データライン121ないし第nデータライン12nを構成するR、G、Bデータライン121R - 12nR、121G - 12nG、121B - 12nBからR、G、Bデータ信号D(S1)DR1 - DRn、DG1 - DGn、DB1 - DBnがR、G、B単位画素の駆動トランジスタのゲートに同時にそれぞれ 20

#### 【0017】

R、G、B単位画素の駆動トランジスタは、R、G、Bデータライン121R - 12nR、121G - 12nG、121B - 12nBにそれぞれ印加されるR、G、Bデータ信号D(S1)DR1 - DRn、DG1 - DGn、DB1 - DBnに相応な駆動電流をR、G、B - EL素子に提供する。従って、第1ゲートライン111に連結される画素P11 - P1nのR、G、B単位画素PR11 - PR1n、PG11 - PG1n、PB11 - PB1nを構成するEL素子は、第1ゲートライン111にスキャン信号S1が印加されると、同時に駆動する。

#### 【0018】

これと同様に、第2ゲートライン112を駆動するためのスキャン信号S2が印加されると、第2ゲートライン112に連結される画素P21 - P2nのR、G、B単位画素PR21 - PR2n、PG21 - PG2n、PB21 - PB2nには、第1データライン121ないし第nデータライン12nを構成するR、G、Bデータライン121R - 12nR、121G - 12nG、121B - 12nBからデータ信号D(S2)DR1 - DRn、DG1 - DGn、DB1 - DBnが印加される。 30

#### 【0019】

第2ゲートライン112に連結される画素P21 - P2nのR、G、B単位画素PR21 - PR2n、PG21 - PG2n、PB21 - PB2nを構成するEL素子がデータ信号D(S2)DR1 - DRn、DG1 - DGn、DB1 - DBnに相応な駆動電流により 40

#### 【0020】

このような動作を繰り返して最終的にm番目のゲートライン11mにスキャン信号Smが印加されると、R、G、Bデータライン121R - 12nR、121G - 12nG、121B - 12nBに印加されるR、G、Bデータ信号D(Sm)DR1 - DRn、DG1 - DGn、DB1 - DBnによりm番目のゲートライン11mに連結される画素Pm1 - PmnのR、G、B単位画素PRm1 - PRmn、PGm1 - PGmn、PBm1 - PBmnを構成するEL素子が同時に駆動される。

#### 【0021】

従って、第1ゲートライン111から第mゲートライン11mに順にスキャン信号S1 50

- S m が印加されると、各ゲートライン 1 1 1 - 1 1 m に連結される画素 ( P 1 1 - P 1 n ) - ( P m 1 - P m n ) が順に駆動され、1 フレーム 1 F の間、画素を駆動して画像をディスプレイするようになる。

【 0 0 2 2 】

しかし、前述したような構成を有する有機電界発光表示装置は、各画素が三つの R、G、B 単位画素で構成され、各 R、G、B 単位画素ごとに R、G、B - E L 素子を駆動させるための駆動素子、すなわち、スイッチング薄膜トランジスター及び駆動薄膜トランジスターとキャパシターがそれぞれ配列され、各駆動素子にデータ信号と電源 ( E L V D D ) を提供するためのデータライン及び電源ラインが単位画素ごとにそれぞれ配列される。

【 発明の開示 】

10

【 発明が解決しようとする課題 】

【 0 0 2 3 】

従って、各画素ごとに三つのデータライン及び三つの電源ラインが配置され、三つのスイッチング薄膜トランジスターと三つの駆動薄膜トランジスターの、少なくとも六つのトランジスターと三つのキャパシターが要求される。一方、各画素が発光制御信号によりコントロールされる場合には、発光制御信号を提供するための別途の発光制御ラインが必要である。従来の表示装置は、各画素ごとに多数の配線と多数の素子が配列されることにより回路構成が複雑となり、それによって欠陥も発生しやすくなり収率が低下するという問題点がある。

【 0 0 2 4 】

20

また、表示装置が更に高精細化されることにより各画素の面積が減少し、それによって、一つの画素にたくさんの要素を配列することが難しいだけでなく、開口率が減少するという問題点がある。

【 0 0 2 5 】

本発明の目的は、高精細に適した有機電界発光表示装置のピクセル回路及びその駆動方法を提供することにある。

本発明の他の目的は、開口率及び収率を向上させることができる有機電界発光表示装置のピクセル回路及びその駆動方法を提供することにある。

本発明の更に他の他の目的は、画素構成及び配線を単純化することができる有機電界発光表示装置のピクセル回路及びその駆動方法を提供することにある。

30

【 課題を解決するための手段 】

【 0 0 2 6 】

前述したような目的を達成するために、本発明は、一定区間ごとに所定の色を具現する表示装置において、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも 2 個以上の発光素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち、隣接する二つの画素の発光素子のうち、二つの発光素子は一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動されて、前記一定区間で所定の色を具現する表示装置を提供する。

【 0 0 2 7 】

前記一定区間は 1 フレームであり、一定期間はサブフレームとして、前記 1 フレームは、二つのサブフレームに分割され、二つの発光素子は、1 フレーム内で各サブフレームごとに時分割的に駆動される。前記サブフレーム内で互いに異なる色を放出する発光素子が同時に発光されて前記サブフレーム内では、少なくとも 2 個以上の互いに異なる色が放出される。前記発光素子は F E D であるか、R、G、B または W - E L 素子である。前記発光素子が E L 素子である場合、二つの E L 素子は第 1 電極が前記能動素子にそれぞれ連結され、第 2 電極が接地電圧に共通で連結されて、前記 E L 素子はストライプタイプまたはデルタタイプに配列される。前記能動素子は、前記発光素子を駆動するための少なくとも一つ以上のスイッチング素子で構成される。前記能動素子を構成するスイッチング素子は、薄膜トランジスター、薄膜ダイオード、ダイオード、または T R S で構成される。

40

【 0 0 2 8 】

また、本発明はそれぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上の E L 素

50

子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち、隣接する二つの画素のＥＬ素子のうち、二つのＥＬ素子は一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動されて、前記一定期間内に互いに異なる色を放出するＥＬ素子が同時に駆動されて少なくとも二つ以上の色を放出する表示装置を提供する。

【００２９】

前記能動素子は前記二つ以上のＥＬ素子に共通で連結されて前記ＥＬ素子を駆動するための駆動手段と、発光制御素子信号によって前記二つのＥＬ素子が順に駆動されるように制御する順次制御手段とを含む。前記駆動手段は少なくともデータ信号をスイッチングするための一つまたは、それ以上のスイッチングトランジスターと、前記データ信号に相應な駆動電流を前記ＥＬ素子に提供するための一つまたは、それ以上の駆動トランジスターと、前記データ信号を貯蔵するためのキャパシターとを含む。前記駆動手段は前記駆動トランジスターのスレッシュホールド電圧を補償するためのスレッシュホールド電圧補償手段をさらに含む。

10

【００３０】

前記順次制御手段は、ゲートに第１発光制御信号が提供され、ソースが前記駆動手段に連結されてドレーンが二つのＥＬ素子のうち、一つのアノード電極に連結される第１薄膜トランジスターと、ゲートに第２発光制御信号が提供されソースが前記駆動手段に連結され、ドレーンが二つのＥＬ素子のうち、他の一つのアノード電極に連結される第２薄膜トランジスターと、で構成される。また、前記順次制御手段はゲートに発光制御信号が提供され、ソースが前記駆動手段に連結されて、ドレーンが二つのＥＬ素子のうち、一つのアノード電極に連結される第１薄膜トランジスターと、ゲートに前記発光制御信号が提供されドレーンが前記駆動手段に連結され、ソースが二つのＥＬ素子のうち、他の一つのアノード電極に連結される第２薄膜トランジスターとで構成される。

20

【００３１】

また、本発明は、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のＥＬ素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち隣接する二つの画素のＥＬ素子のうち、二つのＥＬ素子は一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動され、前記能動素子はゲートがゲートラインに連結され、ソース／ドレーンがデータラインに連結される第１薄膜トランジスターと、前記第１薄膜トランジスターのドレーン／ソースにゲートが連結され、ソース／ドレーンに電源ラインが連結される第２薄膜トランジスターと、前記第２薄膜トランジスターのゲートとソース／ドレーンに連結されるキャパシターと、前記第２薄膜トランジスターのドレーン／ソースにソース／ドレーンが連結され、ゲートに第１発光制御信号が印加され、二つのＥＬ素子のうち、一つのアノード電極にドレーン／ソースが連結される第３薄膜トランジスターと、前記第２薄膜トランジスターのドレーン／ソースにソース／ドレーンが連結され、ゲートに第２発光制御信号が印加され、二つのＥＬ素子のうち、他の一つのアノード電極にドレーン／ソースが連結される第４薄膜トランジスターとを含む有機電界発光表示装置を提供する。

30

【００３２】

また、本発明は、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のＥＬ素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち隣接する二つの画素のＥＬ素子のうち、二つのＥＬ素子は一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動され、前記能動素子はゲートがゲートラインに連結され、ソース／ドレーンがデータラインに連結される第１薄膜トランジスターと、前記第１薄膜トランジスターのドレーン／ソースにゲートが連結され、ソース／ドレーンに電源ラインが連結される第２薄膜トランジスターと、前記第２薄膜トランジスターのゲートとソース／ドレーンに連結されるキャパシターと、前記第２薄膜トランジスターのドレーン／ソースにソース／ドレーンが連結され、ゲートに発光制御信号が印加され、二つのＥＬ素子のうち、一つのアノード電極にドレーン／ソースが連結される第３薄膜トランジスターと、前記第２薄膜トランジスターのドレーン／ソースにドレーン／ソースが連結され、ゲートに前記発光制御信号が印加されて、二つのＥＬ素子のうち、他の一つのアノード電極にソース／ドレ

40

50

ーンが連結される第4薄膜トランジスターとを含む有機電界発光表示装置を提供する。

【0033】

また、本発明は、一定区間ごとに所定の色を具現する表示装置において、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上の発光素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち隣接する二つの画素の二つ以上の発光素子のうち、一部発光素子は第1発光素子グループにグルーピングされ、残りの発光素子は第2発光素子グループにグルーピングされて、前記第1発光素子グループと第2発光素子グループは前記一定区間内で時分割的に駆動され、前記一定区間で所定の色を具現する表示装置を提供する。

【0034】

前記一定区間は1フレームであり、前記1フレームは二つのサブフレームに分割され、第1発光素子グループと第2発光素子グループは各サブフレームで時分割的に駆動され、前記第1発光素子グループと第2発光素子グループの発光素子が発光される時間を調節して、前記具現される所定色のホワイトバランスを調節する。前記第1発光素子グループと第2発光素子グループの発光素子は、隣接する二つの画素の発光素子のうち、各素子の少なくとも二つの発光素子のうち、少なくとも一つ以上が発光素子にグルーピングされる。

10

【0035】

また、本発明は一定区間ごとに所定の色を具現する表示装置において、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上の発光素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち隣接する二つの画素の少なくとも二つ以上の発光素子のうち、一部発光素子は第1発光素子グループにグルーピングされ、残りの発光素子は第2発光素子グループにグルーピングされて、前記一定区間内の一定期間の間、前記第1発光素子グループと第2発光素子グループのうち、一つの発光素子グループの発光素子だけが駆動されて前記一定区間内で所定の色が具現される表示装置を提供する。

20

【0036】

また、本発明は多数のゲートライン、多数のデータライン、多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、前記多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結され、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のEL素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち隣接する二つの画素のEL素子のうち、二つのEL素子は一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動されて、前記能動素子は該当するゲートラインから印加されるスキャン信号により前記該当するデータラインから提供されるデータ信号をスイッチングするための一つ以上のスイッチングトランジスターと、前記スイッチングトランジスターを通じて提供されるデータ信号により、前記EL素子を駆動するための一つ以上の駆動トランジスターと、前記多数の発光制御ラインのうち、該当する少なくとも一つの発光制御ラインから提供される少なくとも一つの発光制御信号により前記EL素子が一定期間ごとに時分割的に駆動されるように制御する一つ以上の薄膜トランジスターとを備える有機電界発光表示装置を提供する。

30

【0037】

また、本発明は、多数のゲートライン、多数のデータライン、多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、前記多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結され、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のEL素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち隣接する二つの画素のEL素子のうち、二つのEL素子は一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動され、前記能動素子はゲートがゲートラインに連結され、ソース/ドレーンがデータラインに連結される第1薄膜トランジスターと、前記第1薄膜トランジスターのドレーン/ソースにゲートが連結され、ソース/ドレーンに電源ラインが連結される第2薄膜トランジスターと、前記第2薄膜トランジスターのゲートとソース/ドレーンに連結されるキャパシターと、前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに第1発光制御信号が印加されて、二つのEL素子のうち、一つのEL素子のアノード電極にド

40

50

レーン/ソースが連結される第3薄膜トランジスターと、前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに第2発光制御信号が印加されて、二つのEL素子のうち、もう一つのEL素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第4薄膜トランジスターとを含む有機電界発光表示装置を提供する。

【0038】

また、本発明は、多数のゲートライン、多数のデータライン多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、前記多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結され、それぞれ一定区間内で一つの色を放出する少なくとも二つ以上のEL素子を備える多数の画素を含み、多数の画素のうち、隣接する二つの画素のEL素子のうち、二つのEL素子は一つの能動素子により一定区間内の一定期間ごとに時分割的に駆動され、前記能動素子はゲートがゲートラインに連結され、ソース/ドレーンがデータラインに連結される第1薄膜トランジスターと、前記第1薄膜トランジスターのドレーン/ソースにゲートが連結され、ソース/ドレーンに電源ラインが連結される第2薄膜トランジスターと、前記第2薄膜トランジスターのゲートとソース/ドレーンに連結されるキャパシターと、前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにソース/ドレーンが連結され、ゲートに発光制御信号が印加されて、二つのEL素子のうち、一つのEL素子のアノード電極にドレーン/ソースが連結される第3薄膜トランジスターと、前記第2薄膜トランジスターのドレーン/ソースにドレーン/ソースが連結され、ゲートに前記発光制御信号が印加されて、二つのEL素子のうち、もう一つのEL素子のアノード電極にソース/ドレーンが連結される第4薄膜トランジスターとを含む有機電界発光表示装置を提供する。

【0039】

また、本発明は多数のゲートライン、多数のデータライン、多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、前記多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結される多数の画素を含む画素部と、前記多数のゲートラインで多数のスキャン信号を提供するためのゲートライン駆動回路と、前記多数のデータラインでR、G、Bデータ信号を提供するためのデータライン駆動回路と、前記多数の発光制御ラインで発光制御信号を提供するための発光制御信号発生回路とを備え、前記画素部の各画素R、G、B発光素子を備え、多数の画素のうち、隣接する二つの画素のR、G、B発光素子のうち、一部の発光素子は第1発光素子グループにグルーピングされ、残りの発光素子は第2素子グループにグルーピングされて、前記一定区間内の一定期間の間、前記発光制御信号により、前記第1発光素子グループと第2発光素子グループのうち、一つの発光素子グループの発光素子だけが前記データ信号に対応して駆動される有機電界発光表示装置を提供する。

【0040】

また、本発明は、多数のゲートライン、多数のデータライン、多数の発光制御ライン及び多数の電源ラインと、多数のゲートライン、データライン発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当するゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結される多数の画素とを含み、各画素は少なくともR、G、B発光素子を備える表示装置を駆動する方法において、多数の画素のうち、隣接する二つの画素のR、G、B発光素子のうち、一部の発光素子を第1発光素子グループにグルーピングし、残りの発光素子を第2発光素子グループにグルーピングし、前記一定区間内で前記第1発光素子グループと第2発光素子グループのうち、一つの発光素子グループの発光素子を駆動し、前記一定区間内で残りの発光素子グループの発光素子を駆動することを含む表示装置の駆動方法を提供する。前記表示装置の駆動方法において、前記第1発光素子グループまたは、第2発光素子グループの発光素子は前記一定区間の間、ゲートラインごとに順に発光されるか、または一括発光される。

【0041】

また、本発明は、多数のゲートライン、データライン、発光制御ライン及び電源ラインのうち、該当されるゲートライン、データライン及び電源ラインにそれぞれ連結される多

数の画素とを含み、各画素は少なくとも R、G、B 発光素子を備える表示装置を駆動する方法において、多数の画素のうち、隣接する二つの画素の R、G、B 発光素子のうち、一部の発光素子を第 1 発光素子グループにグルーピングし、残りの発光素子を第 2 発光素子グループにグルーピングし、一定区間の一定期間内の、第 1 期間の間にゲートラインから提供されるスキャン信号により、ゲートラインごとに前記第 1 発光素子グループまたは、第 2 発光素子グループの発光素子を駆動するためのデータをデータラインを通じて書き込みし、前記一定区間の一定期間内の第 2 期間の間、書き込みされたデータにより第 1 発光素子グループまたは、第 2 発光素子グループの発光素子を一括発光させることを含み、前記第 1 発光素子グループまたは、第 2 発光素子グループは一定区間の一定期間ごとに順に駆動する表示装置の駆動方法を提供する。

10

#### 【発明の効果】

#### 【0042】

前述したように本発明の実施例による有機電界発光表示装置は、隣接する二つの R、G、B - EL 素子のうち、二つの駆動薄膜トランジスタとスイッチング薄膜トランジスタを共有して時分割的に駆動されるので高精細化が可能であり、素子及び配線数を減少させ開口率及び収率を向上させることができる。

#### 【発明を実施するための最良の形態】

#### 【0043】

以下、本発明の実施例を添付された図面を参照して説明すると次のようである。

#### 【実施例 1】

20

#### 【0044】

図 1 は、本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置のブロック構成図を示したものである。図 1 を参照すると、第 1 実施例による有機電界発光表示装置 50 は、画素部 500、ゲートライン駆動回路 510、データライン駆動回路 520 及び発光制御信号発生回路 590 を備える。前記ゲートライン駆動回路 510 は、前記画素部 500 のゲートラインにスキャン信号  $S_1 - S_m$  を 1 フレームの間、順に発生する。前記データライン駆動回路 520 は、前記画素部 500 のデータラインに R、G、B データ信号  $D_{1a} - D_{1c} \sim D_{na} - D_{nc}$  を 1 フレームの間、スキャン信号が印加されるたびに順に提供する。前記発光制御信号発生回路 590 は、画素部 500 の発光制御ラインに R、G、B - EL 素子の発光を制御するための発光制御信号  $EC\_11$ 、 $21 - EC\_1m$ 、 $2m$  を 1 フレームの間、スキャン信号が印加されるたびに順に発生する。

30

#### 【0045】

図 3 は、図 1 に示された本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置において、画素部のブロック構成の一例を示したものである。

#### 【0046】

図 3 を参照すると、前記画素部 500 は、前記ゲートライン駆動回路 510 からスキャン信号  $S_1 - S_m$  がそれぞれ提供される多数のゲートライン  $511 - 51m$  と、前記データライン駆動回路 520 からデータ信号  $D_{1a} - D_{1c} \sim D_{na} - D_{nc}$  がそれぞれ提供される多数のデータライン  $521a - 521c \sim 52na - 52nc$  と、前記発光制御信号発生回路 590 から発光制御信号  $EC\_11$ 、 $EC\_21 - EC\_1m$ 、 $2m$  がそれぞれ提供される多数の発光制御ライン  $591a$ 、 $591b - 59ma$ 、 $59mb$  及び電源電圧  $VDD_{1a} - VDD_{1c} \sim VDD_{na} - VDD_{nc}$  を提供する多数の電源ライン  $531a - 531c \sim 53na - 53nc$  を備える。

40

#### 【0047】

前記画素部 500 は、多数のゲートライン  $511 - 51m$ 、多数のデータライン  $521a - 521c \sim 52na - 52nc$ 、多数の発光制御ライン  $591a$ 、 $591b - 59ma$ 、 $59mb$  及び多数の電源ライン  $531a - 531c \sim 53na - 53nc$  に連結されて、マトリクス形態で配列される多数の画素  $P_{11} - P_{m2n}$  をさらに含む。多数の画素  $P_{11} - P_{m2n}$  のうちゲートラインに沿って隣接した二つの画素  $P_{11}$ 、 $P_{12} \sim P_{m2n-1}$ 、 $P_{m2n}$  は多数のゲートライン  $511 - 51m$  のうち該当する一つのゲートラ

50

イン、多数のデータライン 5 2 1 a - 5 2 1 c ~ 5 2 n a - 5 2 n c のうち該当する三つのデータライン、多数の発光制御ライン 5 9 1 a、5 9 1 b ~ 5 9 m a - 5 9 m b のうち該当する二つの発光制御ライン、そして多数の電源ライン 5 3 1 a - 5 3 1 c ~ 5 3 n a - 5 3 n c のうち該当する三つの電源ラインに連結される。

#### 【0048】

例えば、隣接する二つの画素 P 1 1、P 1 2 は、多数のゲートライン 5 1 1 - 5 1 m のうち第 1 スキャン信号 S 1 を提供するゲートライン 5 1 1、多数のデータライン 5 2 1 a - 5 2 1 c ~ 5 2 n a - 5 2 n c のうちデータ信号 D 1 a - D 1 c を提供するデータライン 5 2 1 a - 5 2 1 c、多数の発光制御ライン 5 9 1 a、5 9 1 b ~ 5 9 m a、5 9 m b のうち発光制御信号 E C \_\_ 1 1、E C \_\_ 2 1 を発生する発光制御ライン 5 9 1 a、5 9 1 b、そして多数の電源ライン 5 3 1 a - 5 3 1 c ~ 5 3 n a - 5 3 n c のうち電源ライン 5 3 1 a - 5 3 1 c に連結される。

10

#### 【0049】

図 5 は、図 3 に示された本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置において、隣接する二つの画素に対するピクセル回路を概略的に示したブロック構成図である。図 5 は、多数の画素のうち隣接する二つの画素 P 1 1、P 1 2 に対して示したものである。

#### 【0050】

図 5 を参照すると、隣接する二つの画素 P 1 1、P 1 2 は、R、G、B - E L 素子 E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G、E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B を備える表示素子 5 6 0 と、前記 R、G、B - E L 素子 E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G、E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B を駆動するための第 1 能動素子 5 7 0 a、第 2 能動素子 5 7 0 b 及び第 3 能動素子 5 7 0 c を備える。第 1 能動素子 5 7 0 a は、ゲートライン 5 1 1、データライン 5 2 1 a、発光制御ライン 5 9 1 a、5 9 1 b 及び電源ライン 5 3 1 a に連結され、第 2 能動素子 5 7 0 b は、ゲートライン 5 1 1、データライン 5 2 1 b、発光制御ライン 5 9 1 a、5 9 1 b 及び電源ライン 5 3 1 b に連結され、第 3 能動素子 5 7 0 c は、ゲートライン 5 1 1、データライン 5 2 1 c、発光制御ライン 5 9 1 a、5 9 1 b 及び電源ライン 5 3 1 c に連結される。

20

#### 【0051】

一方、前記第 1 能動素子 5 7 0 a と接地 V S S との間には、第 1 画素 P 1 1 の R、G、B - E L 素子 E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G、E L 1 \_\_ B のうち、R 及び G - E L 素子 E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G のアノード電極とカソード電極が連結され、第 2 能動素子 5 7 0 b と接地との間には、第 1 画素の B - E L 素子 E L 1 \_\_ B と第 2 画素の R、G、B - E L 素子 E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B のうち、R - E L 素子 E L 2 \_\_ R のアノード電極とカソード電極が連結され、第 3 能動素子 5 7 0 c と接地との間には、第 2 画素の G 及び B - E L 素子 E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B のアノード電極とカソード電極が連結される。

30

#### 【0052】

前述したような構成を有するピクセル回路は、隣接する二つの画素 P 1 1、P 1 2 の R、G、B - E L 素子 (E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G、E L 1 \_\_ B)、(E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B) のうち、二つの E L 素子 (E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G)、(E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ R)、(E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B) がそれぞれの能動素子 5 7 0 a、5 7 0 b、5 7 0 c を共有する。従って、一つの能動素子 5 7 0 a、5 7 0 b、5 7 0 c を共有する二つの E L 素子 (E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G)、(E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ R)、(E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B) は 1 フレームを構成するサブフレームごとに時分割的に駆動される。

40

#### 【0053】

つまり、二つの画素 P 1 1、P 1 2 の R、G、B - E L 素子 (E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G、E L 1 \_\_ B)、(E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B) で、一つの能動素子 5 7 0 a、5 7 0 b、5 7 0 c を共有する二つの E L 素子 (E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G)、(E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ R)、(E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B) のうち、それぞれ一つの E L 素子 E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ G を第 1 E L 素子グループにグルーピングし、それぞれ残りの一つの E L 素子 E L 1 \_\_ G、E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ B を第 2 E L 素子グループにグル

50



ーピングする。従って、一つのサブフレームでは二つのEL素子グループのうち、第1EL素子グループに属するEL素子EL1\_\_R、EL1\_\_B、EL2\_\_Gを同時に駆動し、続いて次のサブフレームでは第2EL素子グループに属するEL素子EL1\_\_G、EL2\_\_R、EL2\_\_Bを同時に駆動する。

#### 【0054】

従って、本発明では1フレームを二つのサブフレームに分け、隣接する二つの画素のR、G、B発光素子(EL1\_\_R、EL1\_\_G、EL1\_\_B)、(EL2\_\_R、EL2\_\_G、EL2\_\_B)のうち、二つの発光素子(EL1\_\_R、EL1\_\_G)、(EL1\_\_B、EL2\_\_R)、(EL2\_\_G、EL2\_\_B)をそれぞれの能動素子570a、570b、570cによって一つのサブフレームでそれぞれ一つずつ同時に駆動し、次のサブフレームでそれぞれ一つずつ同時に駆動することによって、隣接する画素P11、P12が駆動されて所定の色を表示するようになる。

10

#### 【0055】

図7は、図5に示された本発明の第1実施例による順次駆動方式の有機電界発光表示装置のピクセル回路のブロック構成図を示したものであり、図9は、図7のピクセル回路の詳細回路の第1例を示したものである。図7及び図9のピクセル回路は、隣接する二つの画素P11、P12のR、G、B-EL素子EL1\_\_R、EL1\_\_G、EL1\_\_B、EL2\_\_R、EL2\_\_G、EL2\_\_Bを1フレームの間、時分割的に順次駆動するためのピクセル回路の具体例を示したものである。

#### 【0056】

図7及び図9を参照すると、第1表示手段560aを駆動するための第1能動素子570aは、第1駆動手段571a及び第1順次制御手段575aを備える。第1駆動手段571aはゲートライン511にゲートが連結されソースがデータライン521aに連結されるP型第1薄膜トランジスタM51aと、ソースが電源ライン531aに連結されゲートが第1薄膜トランジスタM51aのドレーンに連結されるP型第2薄膜トランジスタM52aと、前記電源ライン531aと第2薄膜トランジスタM52aのゲートに連結されるキャパシタC51aを備える。第1順次制御手段575aは、ゲートに発光制御ライン591aから発光制御信号EC\_\_11が印加され、ソースが前記第2薄膜トランジスタM52aのドレーンに連結されるP型第3薄膜トランジスタM53aと、ゲートに発光制御ライン591bから発光制御信号EC\_\_21が印加され、ソースが前記第2薄膜トランジスタM52aのドレーンに連結されるP型第4薄膜トランジスタM54aを備える。第1表示手段560aは、前記第3薄膜トランジスタM53aのドレーンと接地にアノード電極とカソード電極がそれぞれ連結される第1画素P11のR-EL素子EL1\_\_Rと、第4薄膜トランジスタM54aのドレーンと接地にアノード電極とカソード電極がそれぞれ連結される第1画素P11のG-EL素子EL1\_\_Gを備える。

20

30

#### 【0057】

第2表示手段560bを駆動するための第2能動素子570bは、第2駆動手段571b及び第2順次制御手段575bを備える。第2駆動手段571bは、ゲートライン511にゲートが連結されソースがデータライン521bに連結されるP型第1薄膜トランジスタM51bと、ソースが電源ライン531bに連結されゲートが第1薄膜トランジスタM51bのドレーンに連結されるP型第2薄膜トランジスタM52bと、前記電源ライン531bと第2薄膜トランジスタM52bのゲートに連結されるキャパシタC51bを備える。第2順次制御手段575bは、ゲートに発光制御ライン591aから発光制御信号EC\_\_11が印加され、ソースが前記第2薄膜トランジスタM52bのドレーンに連結されるP型第3薄膜トランジスタM53bと、ゲートに発光制御ライン591bから発光制御信号EC\_\_21が印加され、ソースが前記第2薄膜トランジスタM52bのドレーンに連結されるP型第4薄膜トランジスタM54bを備える。第2表示手段560bは、前記第3薄膜トランジスタM53bのドレーンと接地にアノード電極とカソード電極がそれぞれ連結される第1画素P11のB-EL素子EL1\_\_Bと、第4薄膜トランジスタM54bのドレーンと接地にアノード電極とカソード電極がそれぞれ連

40

50

結される第2画素P12のR-E L素子EL2\_\_Rを備える。

【0058】

第3表示手段560cを駆動するための第3能動素子570cは、第3駆動手段571c及び第3順次制御手段575cを備える。第3駆動手段571cは、ゲートライン511にゲートが連結されソースがデータライン521cに連結されるP型第1薄膜トランジスタM51cと、ソースが電源ライン531cに連結されゲートがP型第1薄膜トランジスタM51cのドレーンが連結されるP型第2薄膜トランジスタM52cと、前記電源ライン531cと第2薄膜トランジスタM52cのゲートに連結されるキャパシターC51cを備える。第3順次制御手段575cは、ゲートに発光制御ライン591aから発光制御信号EC\_\_11が印加され、ソースが前記第2薄膜トランジスタM52cのドレーンに連結されるP型第3薄膜トランジスタM53cと、ゲートに発光制御ライン591bから発光制御信号EC\_\_21が印加され、ソースが前記第2薄膜トランジスタM52cのドレーンに連結されるP型第4薄膜トランジスタM54cを備える。第3表示手段560cは、前記第3薄膜トランジスタM53cのドレーンと接地にアノード電極とカソード電極がそれぞれ連結される第2画素P12のG-E L素子EL2\_\_Gと、第4薄膜トランジスタM54cのドレーンと接地にアノード電極とカソード電極がそれぞれ連結される第2画素P12のB-E L素子EL2\_\_Bを備える。

【0059】

本発明の有機電界発光表示装置のピクセル回路の駆動方式を説明すると次のようになる。

【0060】

従来では図18に示されたように、多数のゲートラインにゲートライン駆動回路110から一つのスキャン信号S1-Smがそれぞれ順に印加されて1フレームの間、m個のスキャン信号が印加され、各スキャン信号S1-Smが印加されるたびにデータライン駆動回路120からR、G、Bデータ信号DR1-DRn、DG1-DGn、DB1-DBnが同時にR、G、Bデータラインに印加されて画素を駆動させる。

【0061】

これとは異なって、本発明では、1フレームが2サブフレームに分けられ、各サブフレームの間、各ゲートラインにゲートライン駆動回路510からスキャン信号がそれぞれ印加されて、1フレームの間に2m個のスキャン信号が印加される。隣接する二つの画素の場合、つまり、第1画素P11及び第2画素P12の場合、第1サブフレームの間、第1ゲートライン511aにスキャン信号S1が印加されると、第1駆動手段571a、第2駆動手段571b及び第3駆動手段571cのスイッチングトランジスタM51a-M51cがターンオンされ、データライン521a-521cから第1画素P11のRデータ信号D1aとBデータ信号D1b、そして第2画素P12のGデータ信号D1cが駆動トランジスタM52a-M52cに提供される。この時、第1順次制御手段575a、第2順次制御手段575b及び第3順次制御手段575cは、発光制御ライン591aから提供される発光制御信号EC\_\_11によって薄膜トランジスタM53a-M53cがターンオンされるため、第1画素P11のRデータ信号D1aとBデータ信号D1b、そして第2画素P12のGデータ信号D1cに相応して第1画素のR-E L素子EL1\_\_R及びB-E L素子EL1\_\_Bと第2画素のG-E L素子EL2\_\_Gが同時に駆動される。

【0062】

次に、第2サブフレームの間、第1ゲートライン511にスキャン信号S1が印加されてデータライン521a-521cから第1画素P11のGデータ信号D1aと第2画素P12のRデータ信号D1b及びBデータ信号D1cが駆動トランジスタM52a-M52cに提供され、第1順次制御手段575a、第2順次制御手段575b及び第3順次制御手段575cは、発光制御ライン591bから提供される発光制御信号EC\_\_21によって薄膜トランジスタM54a-M54cがターンオンされるため、第1画素P11のGデータ信号D1aと第2画素P12のRデータ信号D1b及びBデータ信号D1cに相応して第1画素P11のG-E L素子EL1\_\_Gと第2画素P12のR-E L素子EL

2 \_\_ R 及び B - E L 素子 E L 2 \_\_ B 同時に駆動される。

【 0 0 6 3 】

このように、隣接する二つの画素を構成する R、G、B - E L 素子を二つのグループにグルーピングし、1フレームの間、各サブフレームでそれぞれのグループに属する E L 素子を駆動することによって、1フレームの間、二つの画素の R、G、B - E L 素子を時分割的に順次駆動することができる。つまり、図 9 を参照すると、第 1 画素 P 1 1 及び第 2 画素 P 1 2 の R、G、B - E L 素子 E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ G、E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ G、E L 2 \_\_ B のうち、E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ G を第 1 グループの E L 素子でグルーピングし、E L 1 \_\_ G、E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ B を第 2 グループにグルーピングして、第 1 サブフレームでは第 1 グループの E L 素子 E L 1 \_\_ R、E L 1 \_\_ B、E L 2 \_\_ B を、第 2 サブフレームでは第 2 グループ E L 1 \_\_ G、E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ B を駆動して画像をディスプレイする。本発明では、一つのサブフレームで互いに異なる色を有する E L 素子が同時に発光するため、1 サブフレーム内で互いに異なる二つ以上の色が発光するようになる。

10

【 0 0 6 4 】

従って、本発明のピクセル回路は、隣接する二つの画素の R、G、B 発光素子を二つのグループにグルーピングして能動素子 5 7 0 a - 5 7 0 c を共有するため、回路構成を単純化することができる。

【 0 0 6 5 】

図 1 0 は、図 7 に示された本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置において、画素部のピクセル回路の詳細回路の第 2 例を示したものである。図 1 0 は、図 9 に示された画素部の詳細回路とほぼ同一な構成を有する。但し、第 1 グループの E L 素子を第 1 画素 P 1 1 の R - E L 素子 E L 1 \_\_ R と第 2 画素 P 1 2 の R 及び G - E L 素子 E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ G でグルーピングし、第 2 グループの E L 素子を第 1 画素 P 1 1 の G 及び B - E L 素子 E L 1 \_\_ G、E L 1 \_\_ B と第 2 画素 P 1 2 の B - E L 素子 E L 2 \_\_ B でグルーピングする。

20

【 0 0 6 6 】

従って、1フレームのうち、第 1 サブフレームで第 1 グループの E L 素子である第 1 画素 P 1 1 の R - E L 素子 E L 1 \_\_ R と第 2 画素 P 1 2 の R 及び G - E L 素子 E L 2 \_\_ R、E L 2 \_\_ G を同時に駆動し、第 2 グループの E L 素子である第 1 画素 P 1 1 の G 及び B - E L 素子 E L 1 \_\_ G、E L 1 \_\_ B と第 2 画素 P 1 2 の B - E L 素子 E L 2 \_\_ B を同時に駆動する。

30

【 0 0 6 7 】

図 9 及び図 1 0 は、同一な第 1 ゲートライン上に配列される第 1 画素 P 1 1 及び第 2 画素 P 1 2 の R、G、B - E L 素子のグルーピングに対してのみ説明したが、図 3 に示されたように互いに隣接な画素間には前述したような同一な方法で隣接する二つの画素の E L 素子が第 1 グループ及び第 2 グループの二つのグループにグルーピングされる。

【 0 0 6 8 】

図 1 2 は、本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置を時分割的に順次駆動する方法を説明するための動作波形図であり、各サブフレーム内でスキャンラインごとに E L 素子を順に発光させる順次発光方式の動作波形図である。図 1 2 の動作波形図を参照して順次発光方式で有機電界発光表示装置を駆動させる方法を詳しく説明すると次のようになる。

40

【 0 0 6 9 】

まず、一つのフレーム 1 F のうち、第 1 サブフレーム 1 S F の間、ゲートライン駆動回路 5 1 0 から第 1 ゲートライン 5 1 1 にスキャン信号 S 1 が印加されると、前記第 1 ゲートライン 5 1 1 が駆動され、データライン駆動回路 5 2 0 からデータ信号 D 1 a - D 1 c ~ D n a - D n c として第 1 ゲートライン 5 1 1 に連結された画素 P 1 1 - P 1 2 n の R、G、B - E L 素子のうち、第 1 グループに属する E L 素子を駆動させるためのデータ信号がそれぞれ該当する駆動トランジスターに提供される。

50

## 【 0 0 7 0 】

この時、発光制御信号発生回路 5 9 0 から発光制御ライン 5 9 1 a、5 9 1 b を通じてそれぞれロー及びハイ状態の発光制御信号 E C \_ 1 1、E C \_ 2 1 が印加されると、順次制御手段を構成する薄膜トランジスタのうち、前記第 1 グループに属する E L 素子を制御するための薄膜トランジスタだけがターンオンされるため、前記データ信号 D 1 a - D 1 c ~ D n a - D n c に相応な駆動電流が第 1 グループの E L 素子に提供されて駆動される。

## 【 0 0 7 1 】

続いて、一つのフレーム 1 F のうち、第 2 サブフレーム 2 S F の間、第 1 ゲートライン 5 1 1 に二つ目のスキャン信号 S 1 が印加されると、データライン 5 2 1 a - 5 2 1 c ~ 5 2 1 a - 5 2 n c に第 2 グループに属する E L 素子を駆動するためのデータ信号 D 1 a - D 1 c ~ D n a - D n c がそれぞれ該当する駆動トランジスタに提供される。この時、発光制御信号発生回路 5 9 0 から発光制御ライン 5 9 1 a、5 9 1 b を通じてそれぞれハイ状態及びロー状態の発光制御信号 E C \_ 1 1、E C \_ 2 1 が順次制御手段に印加されると、順次制御手段の薄膜トランジスタのうち、第 2 グループの E L 素子を制御するための薄膜トランジスタがターンオンされて前記データ信号 D 1 a - D 1 c ~ D n a - D n c に相応する駆動電流が第 2 グループの E L 素子に提供されて駆動される。

10

## 【 0 0 7 2 】

前述のような動作を繰り返して 1 フレームの各サブフレームごとにゲートライン 5 1 1 - 5 1 m にスキャン信号が印加されると、データライン 5 2 1 a - 5 2 1 c ~ 5 2 n a - 5 2 n c にデータ信号 D 1 a - D 1 c ~ D n a - D n c が順に印加され、発光制御信号発生回路 5 9 0 から発光制御ライン 5 9 1 a、5 9 1 b を通じてゲートライン 5 1 1 - 5 1 m に連結された画素 P 1 1 - P 1 2 n ~ P m 1 - P m 2 n のうち隣接した二つの画素の R、G、B - E L 素子を順に制御するための発光制御信号 E C \_ 1 1、E C \_ 2 1 ~ E C \_ 1 m、E C \_ 2 m が順次制御手段に順に発生する。従って、1 フレームのうち、一つ目のサブフレームでは順次制御手段の薄膜トランジスタのうち、第 1 グループの E L 素子に対応する薄膜トランジスタがターンオンされてデータ信号 D 1 a - D 1 c ~ D n a - D n c により第 1 グループの E L 素子が駆動され、二つ目のサブフレームでは順次制御手段の薄膜トランジスタのうち、第 2 グループの E L 素子に対応する薄膜トランジスタがターンオンされてデータ信号 D 1 a - D 1 c ~ D n a - D n c により第 2 グループの E L 素子が駆動される。

20

30

## 【 0 0 7 3 】

前述したような有機電界発光表示装置の駆動方式は、1 フレームを 2 サブフレームに分け、第 1 サブフレームでは第 1 ゲートライン 5 1 1 から第 m ゲートライン 5 1 m に連結された画素のうち隣接する二つの画素の R、G、B - E L 素子のうち、第 1 グループにグルーピングされた E L 素子を順に駆動させ、第 2 サブフレームでは第 2 グループにグルーピングされた E L 素子を順に駆動させることにより、1 フレーム内でサブフレームごとに、第 1 グループにグルーピングされた E L 素子と第 2 グループにグルーピングされた E L 素子を順に駆動して画像をディスプレイするようになる。

## 【 0 0 7 4 】

図 1 4 は、本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置を時分割的に順次駆動する方法を説明するための動作波形図であり、各サブフレーム内でスキャンラインに連結された E L 素子を一括発光させる一括発光方式の動作波形図である。図 1 4 の動作波形図を参照して一括発光方式で有機電界発光表示装置を駆動させる方法を詳細に説明すると次のようになる。

40

## 【 0 0 7 5 】

一括発光方法は、一つのフレーム 1 F を 2 サブフレーム 1 S F、2 S F に分割し、各サブフレーム 1 S F、2 S F をもう一度データ書き込み期間とピクセル発光区間とで区分する。第 1 サブフレーム 1 S F のデータ書き込み期間の間に、ゲートライン駆動回路 5 1 0 で第 1 ゲートライン 5 1 1 から第 m ゲートラインにスキャン信号 S 1 - S m が順に印加さ

50

れると、前記第1ゲートライン511から第mゲートライン51mに連結される画素P11 - P12n ~ Pm1 - Pm2nのR、G、B - EL素子のうち、第1グループに属するEL素子を駆動させるためのデータ信号D1a - D1c ~ D1c - Dncがデータライン駆動回路520からそれぞれ該当する駆動トランジスターに順に提供される。

#### 【0076】

前述のように第1グループに属するEL素子を駆動させるためのデータ書き込みが完了されると、第1サブフレームの 픽セル 発光期間の間、発光制御信号発生回路590からそれぞれロー状態の発光制御信号EC\_\_11 - EC1mとハイ状態の発光制御信号EC\_\_21 - EC\_\_2mがそれぞれの発光制御ライン591a - 59maと591b - 59mbに同時に提供されるので、順次制御手段を構成する薄膜トランジスターのうち、前記第1グループに属するEL素子を制御するための薄膜トランジスターが同時にターンオンされる。従って、前記データ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncに相応な駆動電流が第1グループのEL素子に同時に提供されて第1グループのEL素子が一括的に同時に発光される。

10

#### 【0077】

続いて、第2サブフレーム2SFのデータ書き込み期間の間に、ゲートライン駆動回路510で第1ゲートライン511から第mゲートライン51mにスキャン信号S1 - Smが順に印加されると、前記第1ゲートライン511から第mゲートライン51mに連結される画素P11 - P12n ~ Pm1 - Pm2nのR、G、B - EL素子のうち、第2グループに属するEL素子を駆動させるためのデータ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncがデータライン駆動回路520からそれぞれ該当する駆動トランジスターに順に提供する。

20

#### 【0078】

従って、第2グループに属するEL素子を駆動させるためのデータ書き込みが完了されると、第2サブフレームの 픽セル 発光期間の間、発光制御信号発生回路590からそれぞれハイ状態の発光制御信号EC\_\_11 - EC1mとロー状態の発光制御信号EC\_\_21 - EC\_\_2mがそれぞれ発光制御ライン591a - 59maと591b - 59mbに同時に提供されるので、順次制御手段を構成する薄膜トランジスターのうち、前記第2グループに属するEL素子を制御するための薄膜トランジスターが同時にターンオンされる。従って、前記データ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncに相応な駆動電流が第2グループのEL素子に同時に提供されて第2グループのEL素子が一括的に同時に発光される。従って、1フレーム内で画像がディスプレイされる。

30

#### 【実施例2】

#### 【0079】

図2は、本発明の第2実施例による有機電界発光表示装置のブロック構成図を示したものであり、図4は、図2に示された有機電界発光表示装置の詳細ブロック図を示したものである。

#### 【0080】

図2及び図4を参照すると、第2実施例による有機電界発光表示装置50は、図1及び図3に示した第1実施例による有機電界発光表示装置と同一である。但し、第1実施例では同一走査ラインに配列される画素P11 - P12n ~ Pm1 - Pm2nにそれぞれ発光制御信号発生回路590からそれぞれの二つの発光制御ライン591a、591b - 59ma、59mbを通じて発光制御信号EC\_\_11、EC\_\_21 ~ EC\_\_1m、EC\_\_2mが提供される。一方、第2実施例では同一走査ラインに配列される画素P11 - P12n ~ Pm1 - Pm2nに発光制御信号発生回路590から一つの発光制御ライン591 - 59mを通じて発光制御信号EC\_\_1 ~ EC\_\_1mがそれぞれ提供される。

40

#### 【0081】

図6は、図4に示された本発明の第2実施例による有機電界発光表示装置において、隣接する二つの画素に対する 픽セル 回路を概略的に示したブロック構成図であり、図8は、図6の 픽セル 回路の詳細ブロック構成図を示したものである。図11は、図6及び図8に示した 픽セル 回路の詳細構成の一例を示したものである。このとき、図6、図8及

50

び図 11 は、多数の画素のうち、隣接する二つの画素、つまり、第 1 画素 P 1 1 及び第 2 画素 P 1 2 に限定して示したものである。

#### 【0082】

図 6、図 8 及び図 11 を参照すると、隣接する二つの画素 P 1 1、P 1 2 は、R、G、B - EL 素子 (EL 1 \_\_ R、EL 1 \_\_ G、EL 1 \_\_ B)、(EL 2 \_\_ R、EL 2 \_\_ G、EL 2 \_\_ B) を備える表示素子 5 6 0 と、前記 R、G、B - EL 素子 (EL 1 \_\_ R、EL 1 \_\_ G、EL 1 \_\_ B)、(EL 2 \_\_ R、EL 2 \_\_ G、EL 2 \_\_ B) を駆動するための第 1 能動素子 5 7 0 a、第 2 能動素子 5 7 0 b 及び第 3 能動素子 5 7 0 c を備える。第 1 能動素子 5 7 0 a、第 2 能動素子 5 7 0 b 及び第 3 能動素子 5 7 0 c は、それぞれ第 1 駆動手段 5 7 1 a、第 2 駆動手段 5 7 1 b 及び第 3 駆動手段 5 7 1 c と順次制御手段 5 7 5 a - 5 7 5 c を備える。

10

#### 【0083】

前記第 1 能動素子 5 7 0 a、第 2 能動素子 5 7 0 b 及び第 3 能動素子 5 7 0 c の第 1 駆動手段 5 7 1 a、第 2 駆動手段 5 7 1 b 及び第 3 駆動手段 5 7 1 c は、図 9 で示したように第 1 実施例のピクセル回路と同一な構成を有する。第 1 表示手段 5 6 0 a、第 2 表示手段 5 6 0 b 及び第 3 表示手段 5 6 0 c を備える表示素子 5 6 0 のグルーピング方式も、図 9 で示したように第 1 実施例のピクセル回路と同一である。

#### 【0084】

前記第 1 能動素子 5 7 0 a の第 1 順次制御手段 5 7 5 a は、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 を通じて提供される発光制御信号 EC \_\_ 1 が印加され、ソースが前記駆動手段 5 7 1 a の駆動トランジスタ M 5 2 a のドレーンに連結され、ドレーンが表示手段 5 6 0 a の EL 素子 EL 1 \_\_ R のアノード電極に連結される P 型薄膜トランジスタ M 5 3 a と、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 を通じて提供される発光制御信号 EC \_\_ 1 が印加され、ドレーンが前記駆動手段 5 7 1 a の駆動トランジスタ M 5 2 a のドレーンに連結され、ソースが表示手段 5 6 0 a の EL 素子 EL 1 \_\_ G のアノード電極に連結される N 型薄膜トランジスタ M 5 4 a に構成される。

20

#### 【0085】

前記第 2 能動素子 5 7 0 b の第 2 順次制御手段 5 7 5 b は、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 を通じて提供される発光制御信号 EC \_\_ 1 が印加され、ソースが前記駆動手段 5 7 1 b の駆動トランジスタ M 5 2 b のドレーンに連結され、ドレーンが表示手段 5 6 0 b の EL 素子 EL 1 \_\_ B のアノード電極に連結される P 型薄膜トランジスタ M 5 3 b と、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 を通じて提供される発光制御信号 EC \_\_ 1 が印加され、ドレーンが前記駆動手段 5 7 1 b の駆動トランジスタ M 5 2 b のドレーンに連結され、ソースが表示手段 5 6 0 b の EL 素子 EL 2 \_\_ R のアノード電極に連結される N 型薄膜トランジスタ M 5 4 b に構成される。

30

#### 【0086】

前記第 3 能動素子 5 7 0 c の第 3 順次制御手段 5 7 5 c は、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 を通じて提供される発光制御信号 EC \_\_ 1 が印加され、ソースが前記駆動手段 5 7 1 c の駆動トランジスタ M 5 2 c のドレーンに連結され、ドレーンが表示手段 5 6 0 c の EL 素子 EL 2 \_\_ G のアノード電極に連結される P 型薄膜トランジスタ M 5 3 c と、ゲートに発光制御ライン 5 9 1 を通じて提供される発光制御信号 EC \_\_ 1 が印加され、ドレーンが前記駆動手段 5 7 1 c の駆動トランジスタ M 5 2 c のドレーンに連結され、ソースが表示手段 5 6 0 c の EL 素子 EL 2 \_\_ B のアノード電極に連結される N 型薄膜トランジスタ M 5 4 c で構成される。

40

#### 【0087】

本発明の有機電界発光表示装置のピクセル回路の駆動方式を見ると、各順次制御手段 5 7 5 a - 5 7 5 c が P 型薄膜トランジスタと N 型薄膜トランジスタで構成され、一つの発光制御信号により制御されることだけが異なり、残りの動作は第 1 実施例のピクセル回路の駆動方式と同一である。

#### 【0088】

50

図 13 は、本発明の第 2 実施例による有機電界発光表示装置を時分割的に順次駆動する方法を説明するための動作波形図であり、各サブフレーム内でスキャンラインごとに EL 素子を順に発光させる順次発光方式の動作波形図である。図 13 の動作波形図を参照して順次発光方式で有機電界発光表示装置を駆動させる方法を詳細に説明すると次のようである。

#### 【0089】

まず、一つのフレーム 1 F のうち、第 1 サブフレーム 1 S F の間、ゲートライン駆動回路 510 から第 1 ゲートライン 511 にスキャン信号 S1 が印加されると、前記第 1 ゲートライン 511 が駆動され、データライン駆動回路 520 からデータ信号 D1a - D1c ~ Dna - Dnc とし

10

#### 【0090】

このとき、発光制御信号発生回路 590 から発光制御ライン 591 を通じてロー状態の発光制御信号 EC\_\_1 が発生されると、順次制御手段を構成する薄膜トランジスタのうち、前記第 1 グループに属する EL 素子を制御するための P 型薄膜トランジスタのみがターンオンされるので、前記データ信号 D1a - D1c ~ Dna - Dnc に相応な駆動電流が第 1 グループの EL 素子に提供されて駆動される。

#### 【0091】

続いて、一つのフレーム 1 F のうち、第 2 サブフレーム 2 S F の間、第 1 ゲートライン 511 に二番目のスキャン信号 S1 が印加されると、データライン 521a - 521c ~ 52na - 52nc に第 2 グループに属する EL 素子を駆動するためのデータ信号 D1a - D1c ~ Dna - Dnc が提供され、第 2 グループに属する EL 素子に対応する前記駆動トランジスタが駆動される。このとき、発光制御信号発生回路 590 から発光制御ライン 591 を通じてハイ状態の発光制御信号 EC\_\_1 が順次制御手段に印加されると、順次制御手段の薄膜トランジスタのうち、第 2 グループの EL 素子を制御するための N 型薄膜トランジスタがターンオンされて、前記データ信号 D1a - D1c ~ Dna - Dnc に相応な駆動電流が第 2 グループの EL 素子に提供されて駆動される。

20

#### 【0092】

前述のような動作を繰り返して、1 フレームの各サブフレームごとにゲートライン 511 - 51m にスキャン信号がされると、データライン 521a - 521c ~ 52na - 52nc にデータ信号 D1a - D1c ~ Dna - Dnc が順に印加され、発光制御信号発生回路 590 から発光制御ライン 591 を通じてゲートライン 511 - 51m に連結される画素 P11 - P12n ~ Pm1 - Pm2n のうち、隣接する二つの画素の R、G、B - EL 素子を順に制御するための発光制御信号 EC\_\_11 - EC\_\_1m が順次制御手段に順に発生される。これによって、順次制御手段の薄膜トランジスタのうち、第 1 グループの EL 素子に対応する P 型薄膜トランジスタがターンオンされてデータ信号 D1a - D1c ~ Dna - Dnc によって第 1 グループの EL 素子が駆動される。次に、サブフレームで順次制御手段の薄膜トランジスタのうち、第 2 グループの EL 素子に対応する n 型薄膜トランジスタがターンオンされてデータ信号 D1a - D1c ~ Dna - Dnc によ

30

40

#### 【0093】

図 15 は、本発明の第 2 実施例による有機電界発光表示装置を時分割的に順に駆動する方法を説明するための動作波形図であり、各サブフレーム内でスキャンラインに連結される EL 素子を一括発光させる一括発光方式の動作波形図である。図 15 の動作波形図を参照して一括発光方式で有機電界発光表示装置を駆動させる方法を詳細に説明すると次のようになる。

#### 【0094】

第 1 サブフレーム 1 S F のデータ書き込み期間の間、ゲートライン駆動回路 510 で第 1 ゲートライン 511 から第 m ゲートライン 51m にスキャン信号 S1 - Sm が順に印加

50

されると、前記第1ゲートライン511から第mゲートライン51mに連結される画素P11 - P12n ~ Pm1 - Pm2nのR、G、B - EL素子のうち、第1グループに属するEL素子を駆動させるためのデータ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncがデータライン駆動回路520からそれぞれ該当する駆動トランジスタに順に提供される。

【0095】

前述のように第1グループに属するEL素子を駆動させるためのデータ書き込みが完了されると、第1サブフレームの 픽セル 発光期間の間、発光制御信号発生回路590からロー状態の発光制御信号EC\_\_11 - EC1mが発光制御ライン591 - 59mに同時に提供されるので、順次制御手段を構成する薄膜トランジスタのうち、前記第1グループに属するEL素子を制御するための薄膜トランジスタが同時にターンオンされる。従って、前記データ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncに相応な駆動電流が第1グループのEL素子に同時に提供されて第1グループのEL素子が一括的に同時に発光される。

10

【0096】

続いて、第2サブフレーム2SFのデータ書き込み期間の間に、ゲートライン駆動回路510で第1ゲートライン511から第mゲートライン51mにスキャン信号S1 - Smが順次印加されると、前記第1ゲートライン511から第mゲートライン51mに連結される画素P11 - P12n ~ Pm1 - Pm2nのR、G、B - EL素子のうち、第2グループに属するEL素子を駆動させるためのデータ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncがデータライン駆動回路520からそれぞれ該当する駆動トランジスタに順に提供される。

20

【0097】

従って、第2グループに属するEL素子を駆動させるためのデータ書き込みが完了されると、第2サブフレームの 픽セル 発光期間の間、発光制御信号発生回路590からハイ状態の発光制御信号EC\_\_11 - EC1mとロー状態の発光制御信号EC\_\_21 - EC\_\_2mがそれぞれの発光制御ライン591 - 59mに同時に提供されるので、順次制御手段を構成する薄膜トランジスタのうち、前記第2グループに属するEL素子を制御するための薄膜トランジスタが同時にターンオンされる。従って、前記データ信号D1a - D1c ~ Dna - Dncに相応な駆動電流が第2グループのEL素子に同時に提供されて第2グループのEL素子が一括的に同時に発光される。従って、1フレーム内で画像がディスプレイされる。

30

【0098】

前述で説明したように、本発明の第1実施例及び第2実施例による有機電界発光表示装置の駆動方式は、1フレームを2サブフレームに分割し、第1サブフレームでは第1ゲートライン511から第mゲートライン51mに連結される画素のうち、隣接する二つの画素のR、G、B - EL素子のうち、第1グループにグルーピングされるEL素子を順次または、一括駆動させ、第2サブフレームでは第2グループにグルーピングされるEL素子を順次または、一括駆動させることによって、1フレーム内でサブフレームごとに第1グループにグルーピングされるEL素子と第2グループにグルーピングされるEL素子を時分割的に駆動して画素をディスプレイするようになる。

【0099】

本発明の実施例では、隣接する二つの画素のR、G、B - EL素子を二つのグループに分類して各サブフレームごとに時分割的に駆動するが、このとき、第1グループに属するEL素子と第2グループに属するEL素子のグルーピングは任意に変更可能であり、第1グループ及び第2グループのEL素子の駆動順序も変更可能である。

40

【0100】

また、本発明の有機電界発光表示装置は、R、G、B - EL素子の発光時間を調節してホワイトバランスを調節することができるが、順次制御手段の薄膜トランジスタがターンオンされる時間、つまり、発光制御信号のデューティ比を調節してR、G、B - EL素子の発光時間を調節することによってホワイトバランスが調節できる。

【0101】

50



本発明の第1実施例及び第2実施例では、第1駆動手段571a、第2駆動手段571b及び第3駆動手段571cがスイッチングトランジスターと駆動トランジスターの二つの薄膜トランジスターと一つのキャパシターで構成されたが、前記表示手段560を構成する発光素子を駆動することができる構造はすべて可能であり、表示手段560の発光素子を駆動する駆動特性を向上させるすべての手段、例えば、スレッシュホールド電圧補償手段などが追加されることができる。また、第1駆動手段571a、第2駆動手段571b及び第3駆動手段571cを構成する薄膜トランジスターがすべてP型薄膜トランジスターで構成されたが、N型薄膜トランジスターまたは、N型薄膜トランジスターとP型薄膜トランジスターが混合された形態で構成可能であり、また、ディプリションモード(depletion mode)または、インハンスメントモード(enhancement mode)のN型または、P型薄膜トランジスターとして構成することも可能である。また、駆動手段571a-571cを薄膜トランジスターで構成する代わりに薄膜ダイオード(TFD、thin film diode)、ダイオード、TRS(Triodic rectifier switch)等のような多様な形態のスイッチング素子を使用できる。

10

#### 【0102】

前記第1順次制御手段575a、第2順次制御手段575b及び第3順次制御手段575cは、P型薄膜トランジスターだけで構成されるかまたは、N型とP型薄膜トランジスターの組み合わせで構成されたが、N型または、P型薄膜トランジスターを他の形態で組み合わせで構成できるだけではなく薄膜トランジスターをディプリションモードまたは、インハンスメントモードのN型薄膜トランジスターまたは、P型薄膜トランジスターで構成することも可能である。また、順次制御手段575a、575b、575cを薄膜トランジスターで構成する代わりに薄膜ダイオード(TFD、thin film diode)、ダイオード、TRS等のような多様な形態のスイッチング素子を使用でき、R、G、B-E-L素子を順に駆動させる多様な形態として構成することも可能である。

20

#### 【0103】

本発明の実施例では、一つの能動素子を利用して駆動されるR、G、B発光素子としてR、G、B-E-L素子を例示したが、本発明の実施例のように一つの能動素子を利用してR、G、B発光素子を駆動する方式をFED(field emission display)等のような発光素子にも適用できる。

30

#### 【0104】

前述では、本発明の望ましい実施例を参照して説明したが、当該技術分野の熟練した当業者は、前記の特許請求の範囲に記載された本発明の思想及び領域から外れない範囲内で、本発明を多様に修正及び変更されることが理解できるだろう。

#### 【図面の簡単な説明】

#### 【0105】

【図1】本発明の第1実施例による有機電界発光表示装置を示すブロック構成図である。

【図2】本発明の第2実施例による有機電界発光表示装置を示すブロック構成図である。

【図3】図1の本発明の第1実施例による有機電界発光表示装置の画素部を示す構成図である。

40

【図4】図2の本発明の第2実施例による有機電界発光表示装置の画素部を示す構成図である。

【図5】図1の本発明の第1実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路の示すブロック構成図である。

【図6】図2の本発明の第2実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路を示すブロック構成図である。

【図7】図5の本発明の第1実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路を示す詳細ブロック構成図である。

【図8】図6の本発明の第2実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路を示す詳細ブロック構成図である。

50

【図 9】図 7 の本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路の第 1 例を示す図である。

【図 10】図 7 の本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路の第 2 例を示す図である。

【図 11】図 8 の本発明の第 2 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路の第 1 例を示す図である。

【図 12】本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路を順次発光駆動方式で駆動する場合の動作波形図である。

【図 13】本発明の第 2 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路を一括発光駆動方式で駆動する場合の動作波形図である。

10

【図 14】本発明の第 1 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路を順次発光駆動方式で駆動する場合の動作波形図である。

【図 15】本発明の第 2 実施例による有機電界発光表示装置のピクセル回路を一括発光駆動方式で駆動する場合の動作波形図である。

【図 16】通常の有機電界発光表示装置を示す構成図である。

【図 17】図 16 の有機電界発光表示装置のピクセル回路を示す構成図である。

【図 18】図 16 の有機電界発光表示装置を示す動作波形図である。

【符号の説明】

【0106】

500 画素部

20

510 ゲートライン駆動回路

511 - 51m ゲートライン

520 データライン駆動回路

521a - 521c ~ 52na - 521c データライン

531a - 531c ~ 53na - 53nc 電源ライン

560a、560b、560c 表示手段

570a、570b、570c 能動素子

571a、571b、571c 駆動手段

575a、575b、575c 順次制御手段

590、591 - 1 発光制御信号発生回路

30

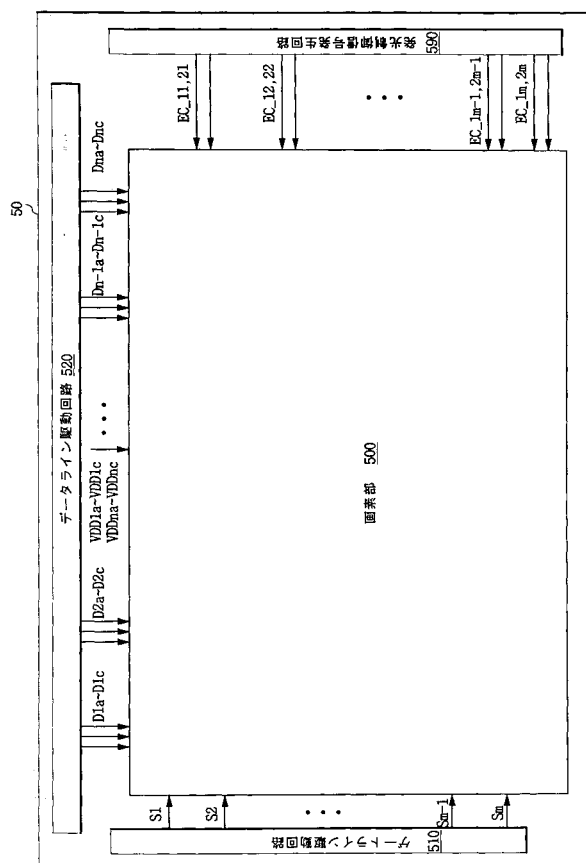
591a、591b ~ 59ma、59mb、591 - 59m 発光制御ライン

P11 - Pm2n 画素

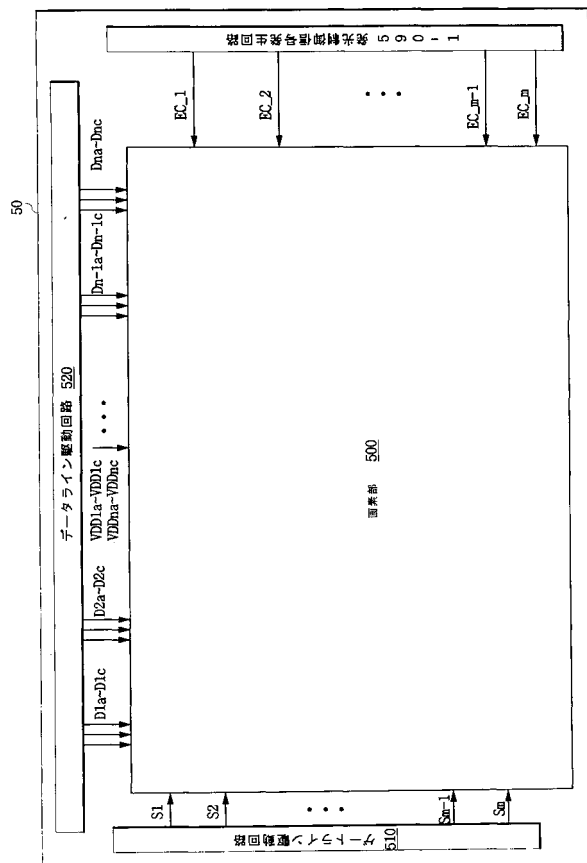
EL1\_\_R、EL1\_\_G、EL1\_\_B、EL2\_\_R、EL2\_\_G、EL2\_\_B R、G

、B - EL 素子

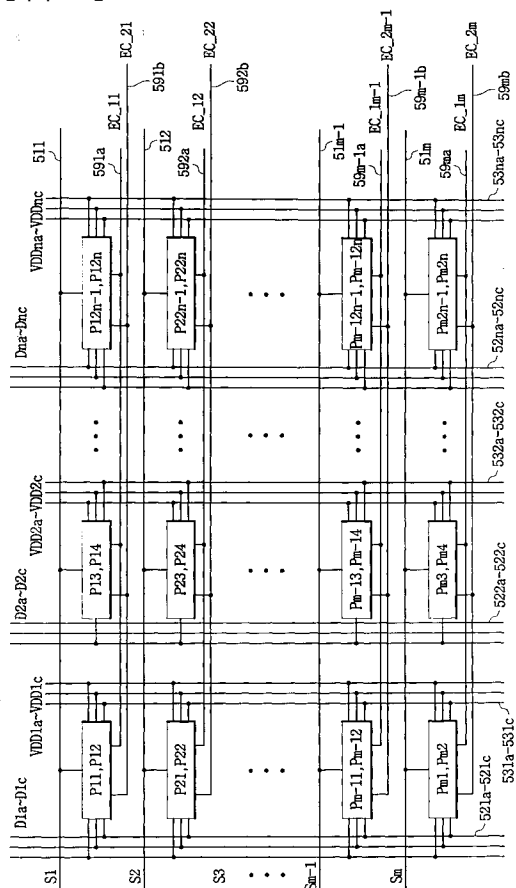
【 図 1 】



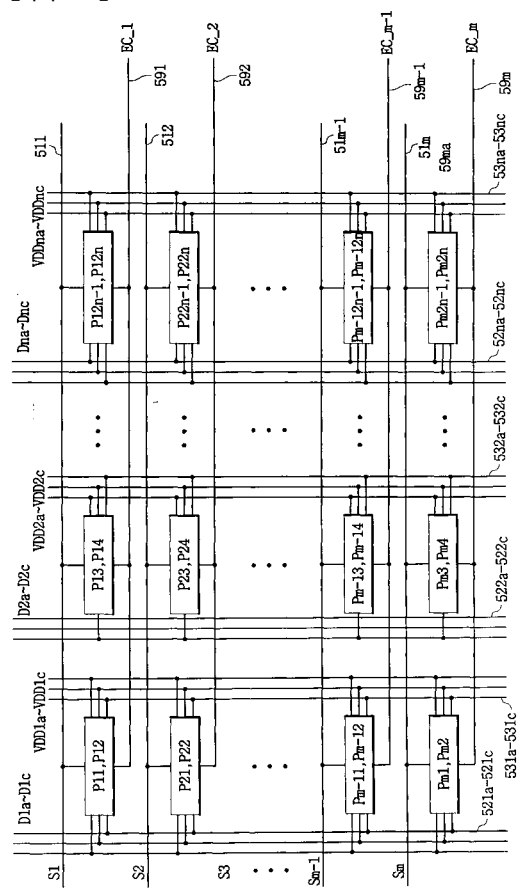
【 図 2 】



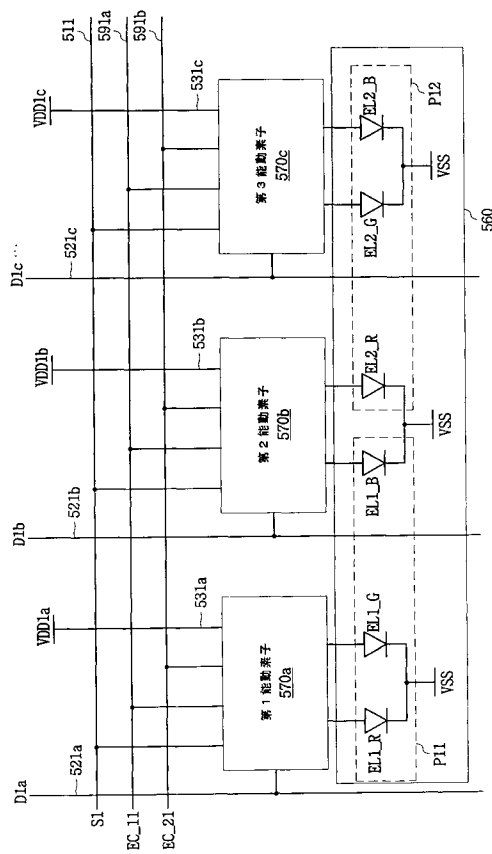
【 図 3 】



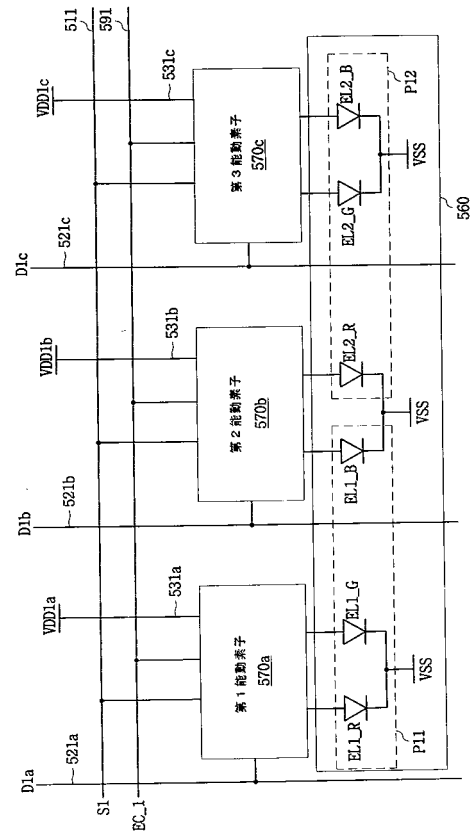
【 図 4 】



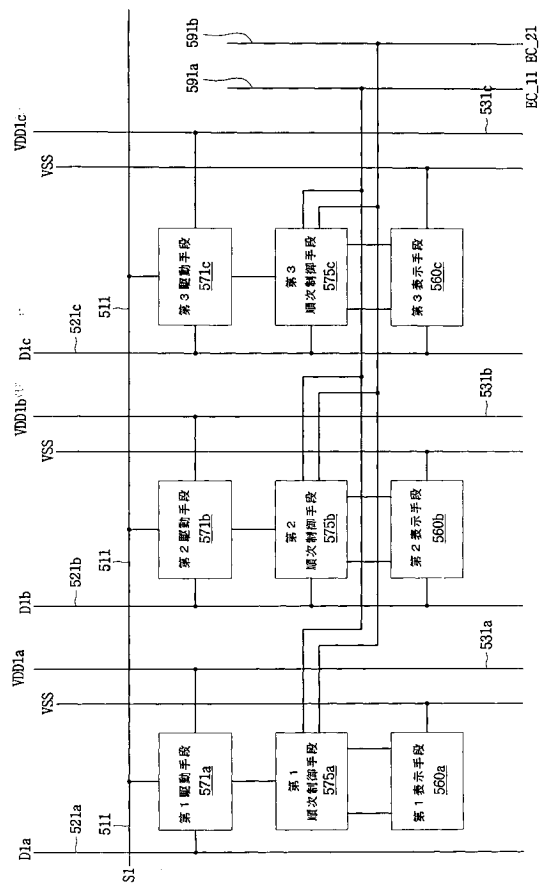
【図 5】



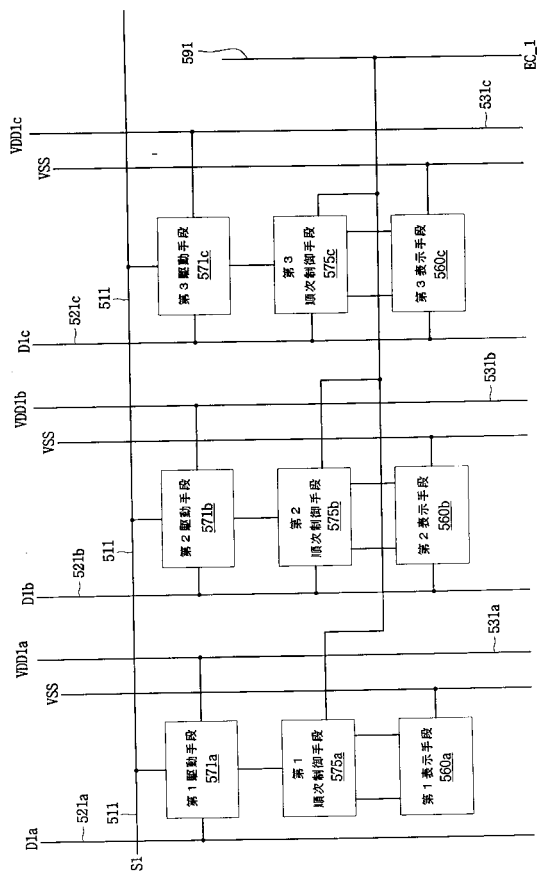
【図 6】



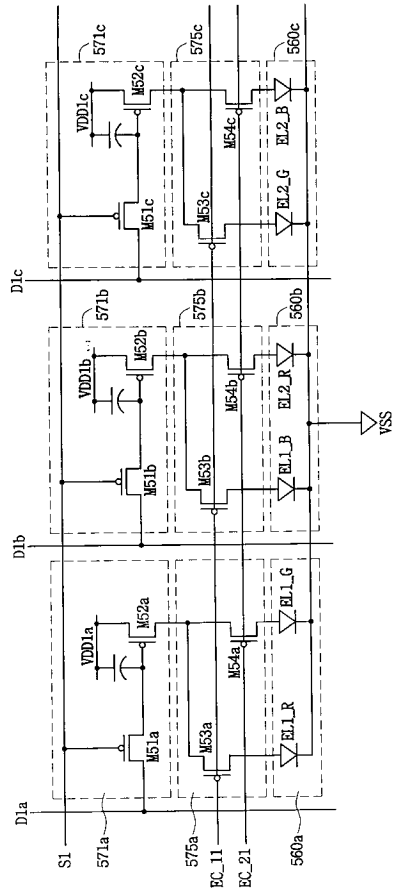
【図 7】



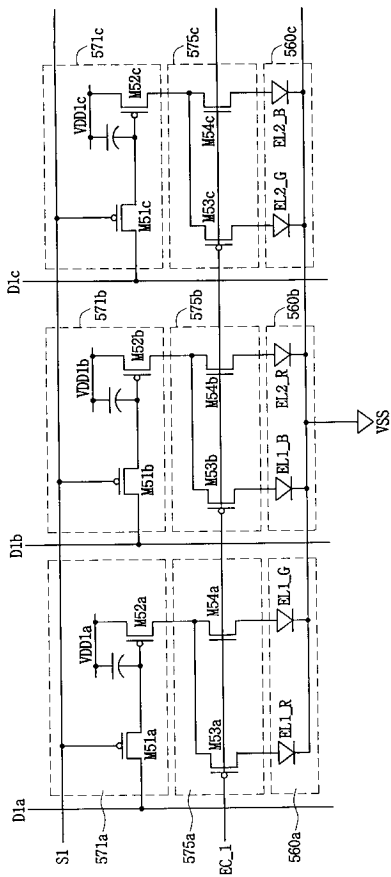
【図 8】



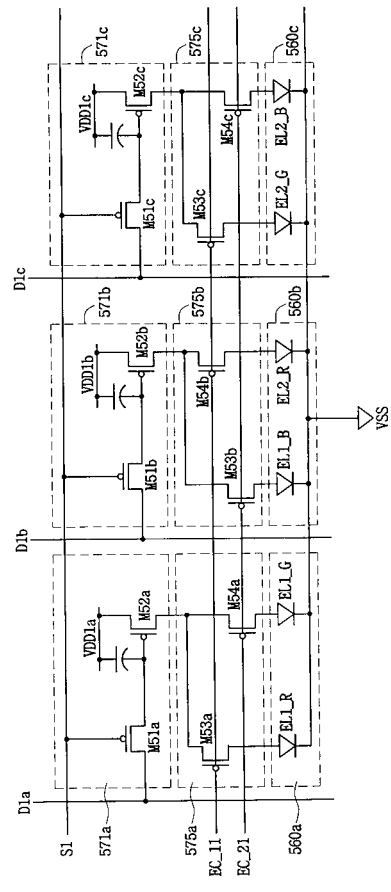
【図 9】



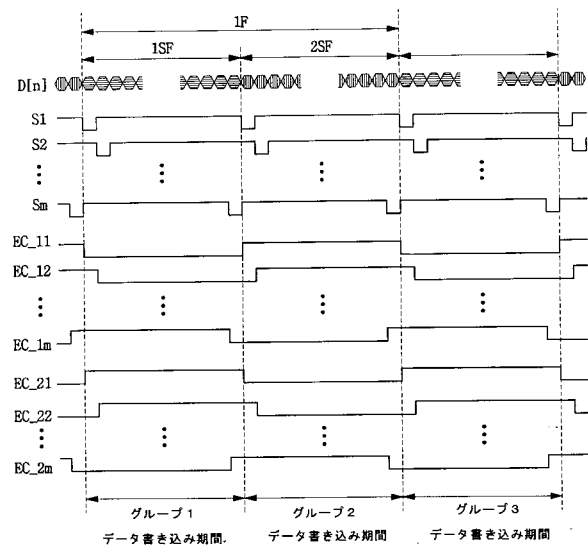
【図 11】



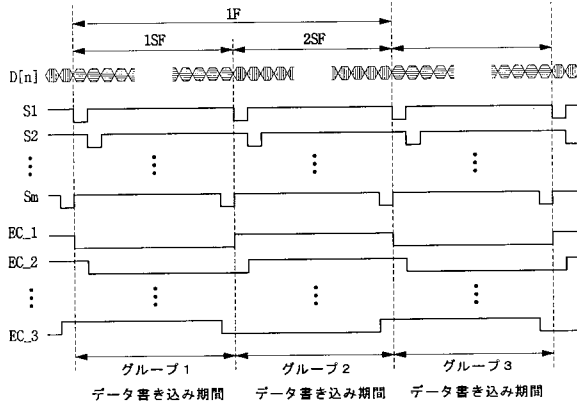
【図 10】



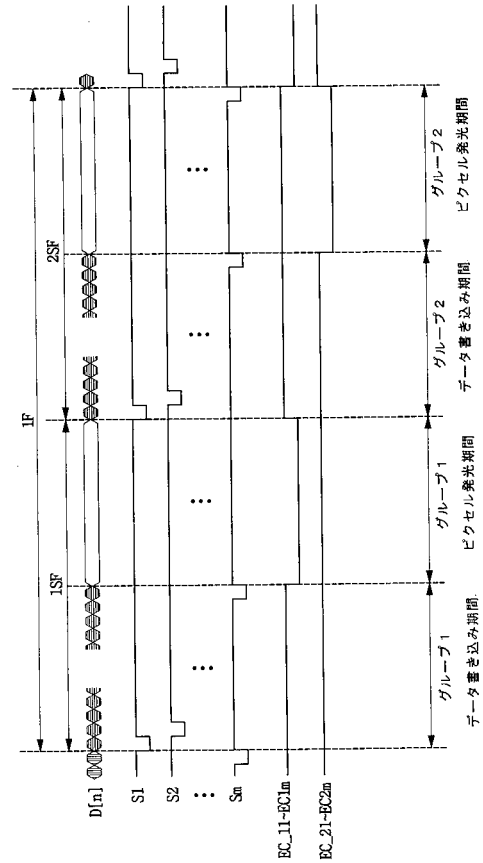
【図 12】



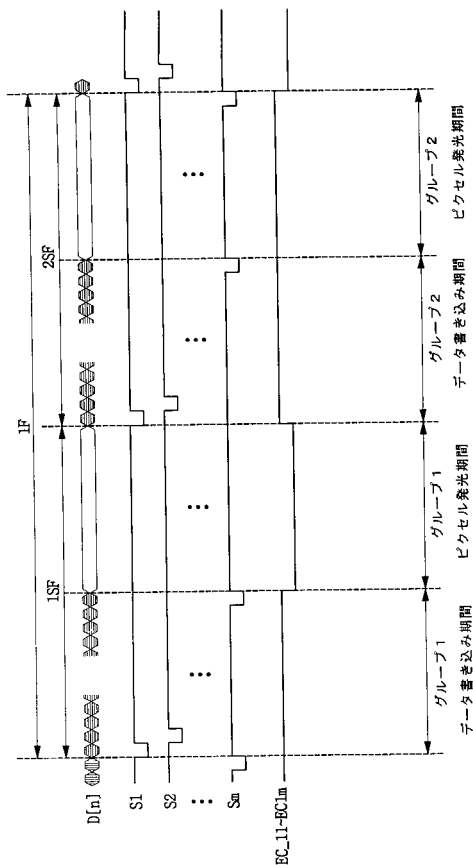
【図 13】



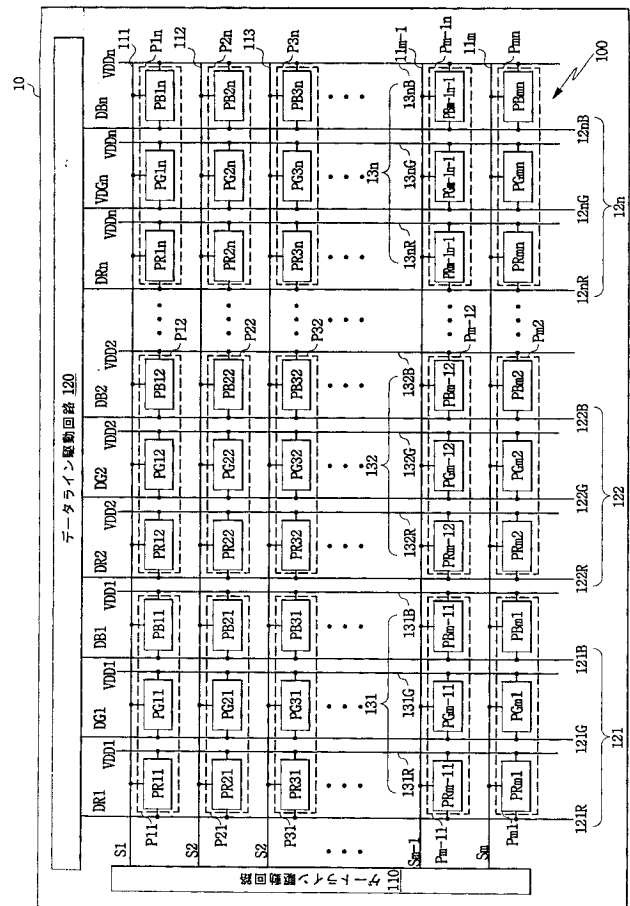
【図 14】



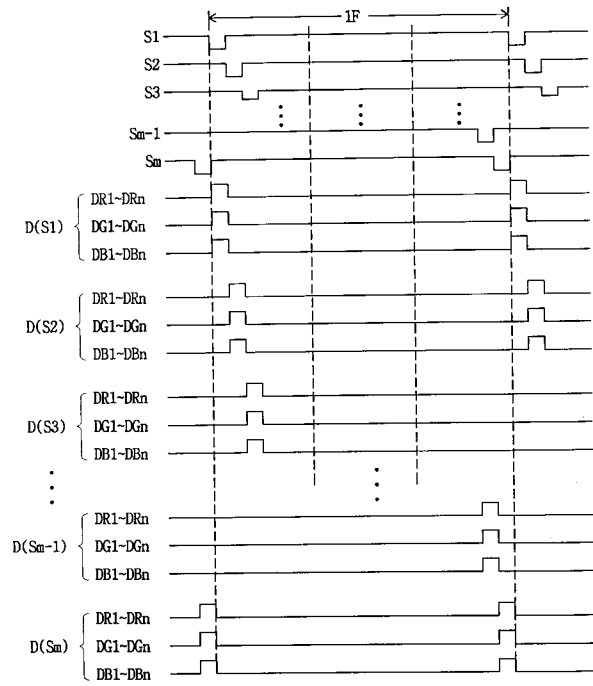
【図 15】



【図 16】



【 図 1 8 】



---

フロントページの続き(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

F I

テーマコード(参考)

G 0 9 G 3/20 6 4 2 L

G 0 9 G 3/22 E

H 0 5 B 33/14 A



专利名称(译)	平板显示装置及其驱动方法		
公开(公告)号	<a href="#">JP2005157258A</a>	公开(公告)日	2005-06-16
申请号	JP2004131246	申请日	2004-04-27
[标]申请(专利权)人(译)	三星斯笛爱股份有限公司		
申请(专利权)人(译)	三星エスディアイ株式会社		
[标]发明人	申東蓉		
发明人	申 東 蓉		
IPC分类号	H01L51/50 G09G3/20 G09G3/22 G09G3/30 G09G3/32 H05B33/14		
CPC分类号	G09G3/3233 G09G3/22 G09G2300/0452 G09G2300/0465 G09G2300/0804 G09G2300/0814 G09G2300/0842 G09G2310/0235 G09G2320/0606 G09G2320/0666		
FI分类号	G09G3/30.H G09G3/30.K G09G3/20.624.B G09G3/20.641.A G09G3/20.641.E G09G3/20.642.L G09G3/22.E H05B33/14.A G09G3/3233 G09G3/3266 G09G3/3275		
F-TERM分类号	3K007/AB02 3K007/AB18 3K007/BA06 3K007/DB03 3K007/GA00 5C080/AA06 5C080/AA18 5C080/BB05 5C080/CC03 5C080/DD07 5C080/EE29 5C080/FF07 5C080/FF11 5C080/HH09 5C080/JJ02 5C080/JJ03 5C080/JJ04 3K107/AA01 3K107/BB01 3K107/CC08 3K107/CC35 3K107/CC36 3K107/CC45 3K107/EE04 3K107/EE07 3K107/HH04 3K107/HH05 5C380/AA01 5C380/AB06 5C380/AB12 5C380/AB13 5C380/AB29 5C380/AB34 5C380/AB36 5C380/BB12 5C380/BB14 5C380/CA08 5C380/CA10 5C380/CA49 5C380/CA53 5C380/CB01 5C380/CB26 5C380/CB31 5C380/CC02 5C380/CC26 5C380/CC33 5C380/CC39 5C380/CC51 5C380/CC58 5C380/CC61 5C380/CC62 5C380/CC64 5C380/CD014 5C380/DA02 5C380/DA06 5C380/DA09 5C380/HA17 5C380/HA18		
代理人(译)	三好秀		
优先权	1020030084235 2003-11-25 KR		
其他公开文献	JP4295163B2		
外部链接	<a href="#">Espacenet</a>		

# 摘要(译)

提供了一种有机发光显示装置的像素电路及其驱动方法。本发明包括大量包括两个或更多个发光元件的像素，并且在多个像素中，相邻两个像素的两个或更多个发光元件的一部分是第一发光元件。发光元件组EL1\_R，EL1\_B和EL2\_G被分组，其余的发光元件被分组为第二发光元件组EL1\_G，EL2\_R，EL2\_B，并且第一发光元件组EL1\_R，EL1\_B，EL2\_G和第二发光元件组EL1\_G，EL2\_R和EL2\_B在特定时段内被顺序驱动以在特定时段内实现特定颜色。该特定部分是一帧，该帧被分为两个子帧，第一发光元件组EL1\_R，EL1\_B，EL2\_G和第二发光元件组EL1\_G，EL2\_R，EL2\_B被每个子帧时分。被驱动 [选择图]图9

